

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-056651
 (43)Date of publication of application : 22.02.2002

(51)Int.Cl. G11B 27/00
 G11B 20/12
 H04N 5/85
 H04N 5/91

(21)Application number : 2001-109342 (71)Applicant : SONY CORP
 (22)Date of filing : 06.04.2001 (72)Inventor : KATO MOTOKI
 HAMADA TOSHIYA

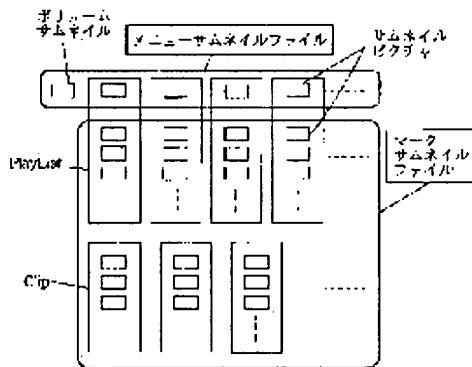
(30)Priority
 Priority number : 2000185479 Priority date : 21.04.2000 Priority country : JP

(54) RECORDER AND RECORDING METHOD, REPRODUCER AND REPRODUCING METHOD, RECORDING MEDIUM AND PROGRAM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily select the recorded data.

SOLUTION: A volume thumbnail is equal to a thumbnail image that symbolizes all data that are recorded on a recording medium. A play list is one of units of reproduction sections of data and plural thumbnails are included in each unit. Then the thumbnails representing the play lists are registered as menu thumbnails. These menu thumbnails are displayed in a list when the play lists are selected. Every play list and also the clip corresponding to the play list include plural thumbnails respectively. These thumbnails are used as mark thumbnails when the reproduction positions are designated in the play lists.



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-56651

(P2002-56651A)

(43)公開日 平成14年2月22日 (2002.2.22)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコ-ト ⁸ (参考)
G 11 B 27/00		G 11 B 27/00	D 5 C 0 5 2
20/12		20/12	5 C 0 5 3
	1 0 3		1 0 3 5 D 0 4 4
H 04 N 5/85		H 04 N 5/85	B 5 D 1 1 0
5/91		5/91	N

審査請求 未請求 請求項の数16 OL (全37頁)

(21)出願番号	特願2001-109342(P2001-109342)
(22)出願日	平成13年4月6日 (2001.4.6)
(31)優先権主張番号	特願2000-185479(P2000-185479)
(32)優先日	平成12年4月21日 (2000.4.21)
(33)優先権主張国	日本 (JP)

(71)出願人	000002185 ソニー株式会社 東京都品川区北品川6丁目7番35号
(72)発明者	加藤 元樹 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内
(72)発明者	浜田 俊也 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内
(74)代理人	100082131 弁理士 稲本 義雄

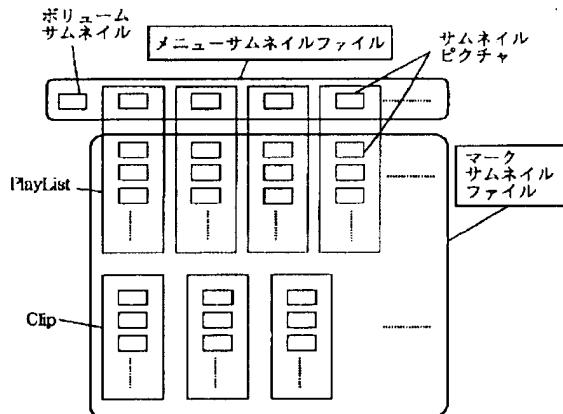
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 記録装置および方法、再生装置および方法、記録媒体、プログラム、並びに記録媒体

(57)【要約】

【課題】 記録されているデータの選択を簡便に行えるようにする。

【解決手段】 ボリュームサムネイルは、記録媒体に記録されている全てのデータを象徴するようなサムネイル画像である。プレイリストは、データの再生区間の1つの単位であり、その単位内には、複数のサムネイルが設けられている。そのうち、プレイリストを代表するサムネイルがメニュー-サムネイルとして登録される。このメニュー-サムネイルは、プレイリストを選択する際に、一覧表示される。プレイリストや、そのプレイリストに対応するクリップ内にも、複数のサムネイルが設けられており、それらのサムネイルは、マークサムネイルとして、プレイリスト内の再生位置を指定する際に用いられる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 入力された動画像データから、当該動画像データを代表するサムネイル画像を第1のサムネイルデータとして生成すると共に、前記動画像データから、特徴的な画像として抽出された画像のサムネイル画像か、または、ユーザが指定した画像のサムネイル画像を第2のサムネイルデータとして生成する生成手段と、前記生成手段により生成された前記第1のサムネイルデータと前記第2のサムネイルデータを、各々独立したグループとして記録媒体に記録する記録手段とを有することを特徴とする記録装置。

【請求項2】 前記生成手段は、前記第1のサムネイルデータと前記第2のサムネイルデータを、各々独立したファイルとして生成することを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項3】 前記生成手段は、前記第1のサムネイルデータと前記第2のサムネイルデータを各々独立したデータブロックとするとともに1つのファイルとして生成することを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項4】 前記生成手段は、前記第1のサムネイルデータに対応する番号で前記第1のサムネイルデータを管理する第1の管理データも生成すると共に、前記第2のサムネイルデータに対応する番号で前記第2のサムネイルデータを管理する第2の管理データも生成し、前記記録手段は、前記第1の管理データおよび前記第2の管理データを前記記録媒体に記録することを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項5】 前記第1の管理データと前記第2の管理データは、管理する前記サムネイル画像の画像データのフォーマット形式を示すデータを含むことを特徴とする請求項4に記載の記録装置。

【請求項6】 前記記録手段は、前記第1のサムネイルデータまたは前記第2のサムネイルデータに含まれる前記サムネイル画像の画像データを、所定の大きさのブロック単位で記録することを特徴とする請求項4に記載の記録装置。

【請求項7】 前記記録手段は、前記第1のサムネイル画像の参照先を示す情報をさらに別ファイルとして前記記録媒体に記録することを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項8】 前記記録手段は、前記第2のサムネイルデータに含まれる前記サムネイル画像の参照先を示す情報をさらに記録することを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項9】 入力された動画像データから、当該動画像データを代表するサムネイル画像を第1のサムネイルデータとして生成すると共に、前記動画像データから、特徴的な画像として抽出された画像のサムネイル画像か、または、ユーザが指定した画像のサムネイル画像を第2のサムネイルデータとして生成する生成ステップ

と、

前記生成ステップの処理で生成された前記第1のサムネイルデータと前記第2のサムネイルデータを、各々独立したグループとして記録媒体に記録するための制御を行う記録制御ステップとを含むことを特徴とする記録方法。

【請求項10】 入力された動画像データから、当該動画像データを代表するサムネイル画像を第1のサムネイルデータとして生成すると共に、前記動画像データから、特徴的な画像として抽出された画像のサムネイル画像か、または、ユーザが指定した画像のサムネイル画像を第2のサムネイルデータとして生成する生成ステップと、

前記生成ステップの処理で生成された前記第1のサムネイルデータと前記第2のサムネイルデータを、各々独立したグループとして記録媒体に記録するための制御を行う記録制御ステップとを含むことを特徴とするコンピュータが読み取り可能なプログラムが記録されている記録媒体。

【請求項11】 入力された動画像データから、当該動画像データを代表するサムネイル画像を第1のサムネイルデータとして生成すると共に、前記動画像データから、特徴的な画像として抽出された画像のサムネイル画像か、または、ユーザが指定した画像のサムネイル画像を第2のサムネイルデータとして生成する生成ステップと、

前記生成ステップの処理で生成された前記第1のサムネイルデータと前記第2のサムネイルデータを、各々独立したグループとして記録媒体に記録するための制御を行う記録制御ステップとをコンピュータに実行させるプログラム。

【請求項12】 画像データの再生が指示された場合、前記画像データの内容を示すサムネイル画像の画像データを管理する管理データを読み出す第1の読み出し手段と、

前記読み出し手段により読み出された前記管理データに基づき、前記画像データを読み出す第2の読み出し手段と、

前記画像データから、特徴的な画像として抽出された画像のサムネイル画像の画像データか、または、ユーザにより指定された画像のサムネイル画像の画像データと、その画像データを管理する管理データを読み出す第3の読み出し手段と、

前記第3の読み出し手段により読み出された前記管理データに基づき、前記画像データを読み出す第4の読み出し手段とを含むことを特徴とする再生装置。

【請求項13】 画像データの再生が指示された場合、前記画像データの内容を示すサムネイル画像の画像データを管理する管理データの読み出しを制御する第1の読み出し制御ステップと、

前記読み出し制御ステップの処理で読み出しが制御された前記管理データに基づき、前記画像データの読み出しを制御する第2の読み出し制御ステップと、前記画像データから、特徴的な画像として抽出された画像のサムネイル画像の画像データか、または、ユーザにより指定された画像のサムネイル画像の画像データと、その画像データを管理する管理データを読み出す第3の読み出しステップと、前記第3の読み出し制御ステップの処理で読み出しが制御された前記管理データに基づき、前記画像データを読み出す第4の読み出しステップとを含むことを特徴とする再生方法。

【請求項14】 画像データの再生が指示された場合、前記画像データの内容を示すサムネイル画像の画像データを管理する管理データの読み出しを制御する第1の読み出し制御ステップと、前記読み出し制御ステップの処理で読み出しが制御された前記管理データに基づき、前記画像データの読み出しを制御する第2の読み出し制御ステップと、前記画像データから、特徴的な画像として抽出された画像のサムネイル画像の画像データか、または、ユーザにより指定された画像のサムネイル画像の画像データと、その画像データを管理する管理データを読み出す第3の読み出しステップと、前記第3の読み出し制御ステップの処理で読み出しが制御された前記管理データに基づき、前記画像データを読み出す第4の読み出しステップとを含むことを特徴とするコンピュータが読み取り可能なプログラムが記録されている記録媒体。

【請求項15】 画像データの再生が指示された場合、前記画像データの内容を示すサムネイル画像の画像データを管理する管理データの読み出しを制御する第1の読み出し制御ステップと、前記読み出し制御ステップの処理で読み出しが制御された前記管理データに基づき、前記画像データの読み出しを制御する第2の読み出し制御ステップと、前記画像データから、特徴的な画像として抽出された画像のサムネイル画像の画像データか、または、ユーザにより指定された画像のサムネイル画像の画像データと、その画像データを管理する管理データを読み出す第3の読み出しステップと、前記第3の読み出し制御ステップの処理で読み出しが制御された前記管理データに基づき、前記画像データを読み出す第4の読み出しステップとをコンピュータに実行させるプログラム。

【請求項16】 画像データ、前記画像データから、前記画像データの内容を示すサムネイル画像の画像データと、そのサムネイル画像のデータを管理する管理データから構成される第1のデータ、および、前記画像データから、特徴的な画像として抽出された画像のサムネイル

画像の画像データか、または、ユーザが指定した画像のサムネイル画像の画像データと、その画像データを管理する管理データから構成される第2のデータが記録されていることを特徴とする記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は記録装置および方法、再生装置および方法、記録媒体、プログラム、並びに記録媒体に関し、特に、データを代表するサムネイル10をデータに付加する記録装置および方法、再生装置および方法、記録媒体、プログラム、並びに記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】 近年、記録再生装置から取り外し可能なディスク型の記録媒体として、各種の光ディスクが提案されつつある。このような記録可能な光ディスクは、数ギガバイトの大容量メディアとして提案されており、ビデオ信号等のAV(Audio Visual)信号を記録するメディアとしての期待が高い。この記録可能な光ディスクに記録20するデジタルのAV信号のソース(供給源)としては、CSデジタル衛星放送やBSデジタル放送があり、また、将来はデジタル方式の地上波テレビジョン放送等も提案されている。

【0003】 ここで、これらのソースから供給されるデジタルビデオ信号は、通常MPEG(Moving Picture Experts Group)2方式で画像圧縮されているのが一般的である。また、記録装置には、その装置固有の記録レートが定められている。従来の民生用映像蓄積メディアで、デジタル放送由来のデジタルビデオ信号を記録する場合、30アナログ記録方式であれば、デジタルビデオ信号をデコード後、帯域制限をして記録する。あるいは、MPEG1 Video、MPEG2 Video、DV方式をはじめとするデジタル記録方式であれば、1度デコードされた後に、その装置固有の記録レート・符号化方式で再エンコードされて記録される。

【0004】 しかしながら、このような記録方法は、供給されたビットストリームを1度デコードし、その後で帯域制限や再エンコードを行って記録するため、画質の劣化を伴う。画像圧縮されたデジタル信号の記録する40場合、入力されたデジタル信号の伝送レートが記録再生装置の記録レートを超えない場合には、供給されたビットストリームをデコードや再エンコードすることなく、そのまま記録する方法が最も画質の劣化が少ない。ただし、画像圧縮されたデジタル信号の伝送レートが記録媒体としてのディスクの記録レートを超える場合には、記録再生装置でデコード後、伝送レートがディスクの記録レートの上限以下になるように、再エンコードをして記録する必要はある。

【0005】 また、入力デジタル信号のビットレートが50時間により増減する可変レート方式によって伝送されて

5
いる場合には、回転ヘッドが固定回転数であるために記録レートが固定レートになるテープ記録方式に比べ、一度バッファにデータを蓄積し、バースト的に記録ができるディスク記録装置が記録媒体の容量をより無駄なく利用できる。

【0006】以上のように、デジタル放送が主流となる将来においては、データストリーマのように放送信号をデジタル信号のまま、デコードや再エンコードすることなく記録し、記録媒体としてディスクを使用した記録再生装置が求められると予測される。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】上述したような装置により、複数のデータ（例えば、映像データや音声データなどから構成される番組のデータ）が記録されている記録媒体を再生する際、記録媒体に記録されるデータ量が増加するに従い、どの番組を再生するのか、番組中のどのシーンから再生するのかといった、再生させる前の処理が煩雑になるといった課題があった。

【0008】本発明はこのような状況に鑑みてなされたものであり、データを代表するサムネイルをデータに付加することにより、再生させるデータを簡単に選択できるようにすることを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明の記録装置は、入力された動画像データから、当該動画像データを代表するサムネイル画像を第1のサムネイルデータとして生成すると共に、動画像データから、特徴的な画像として抽出された画像のサムネイル画像か、または、ユーザが指定した画像のサムネイル画像を第2のサムネイルデータとして生成する生成手段と、生成手段により生成された第1のサムネイルデータと第2のサムネイルデータを、各々独立したグループとして記録媒体に記録する記録手段とを有することを特徴とする。

【0010】前記生成手段は、第1のサムネイルデータと第2のサムネイルデータを、各々独立したファイルとして生成するようにすることができる。

【0011】前記生成手段は、第1のサムネイルデータと第2のサムネイルデータを各々独立したデータブロックとするとともに1つのファイルとして生成するようにすることができる。

【0012】前記生成手段は、第1のサムネイルデータに対応する番号で第1のサムネイルデータを管理する第1の管理データも生成すると共に、第2のサムネイルデータに対応する番号で第2のサムネイルデータを管理する第2の管理データも生成し、前記記録手段は、第1の管理データおよび第2の管理データを記録媒体に記録するようにすることができる。

【0013】前記第1の管理データと第2の管理データは、管理するサムネイル画像の画像データのフォーマット形式を示すデータを含むようにすることができる。

【0014】前記記録手段は、第1のサムネイルデータまたは第2のサムネイルデータに含まれるサムネイル画像の画像データを、所定の大きさのブロック単位で記録するようにすることができる。

【0015】前記記録手段は、第1のサムネイル画像の参照先を示す情報をさらに別ファイルとして記録媒体に記録するようにすることができる。

【0016】前記記録手段は、第2のサムネイルデータに含まれるサムネイル画像の参照先を示す情報をさらに記録するようにすることができる。

【0017】本発明の記録方法は、入力された動画像データから、当該動画像データを代表するサムネイル画像を第1のサムネイルデータとして生成すると共に、動画像データから、特徴的な画像として抽出された画像のサムネイル画像か、または、ユーザが指定した画像のサムネイル画像を第2のサムネイルデータとして生成する生成ステップと、生成ステップの処理で生成された第1のサムネイルデータと第2のサムネイルデータを、各々独立したグループとして記録媒体に記録するための制御を行なう記録制御ステップとを含むことを特徴とする。

【0018】本発明の第1の記録媒体のプログラムは、入力された動画像データから、当該動画像データを代表するサムネイル画像を第1のサムネイルデータとして生成すると共に、動画像データから、特徴的な画像として抽出された画像のサムネイル画像か、または、ユーザが指定した画像のサムネイル画像を第2のサムネイルデータとして生成する生成ステップと、生成ステップの処理で生成された第1のサムネイルデータと第2のサムネイルデータを、各々独立したグループとして記録媒体に記録するための制御を行なう記録制御ステップとを含むことを特徴とする。

【0019】本発明の第1のプログラムは、入力された動画像データから、当該動画像データを代表するサムネイル画像を第1のサムネイルデータとして生成すると共に、動画像データから、特徴的な画像として抽出された画像のサムネイル画像か、または、ユーザが指定した画像のサムネイル画像を第2のサムネイルデータとして生成する生成ステップと、生成ステップの処理で生成された第1のサムネイルデータと第2のサムネイルデータを、各々独立したグループとして記録媒体に記録するための制御を行なう記録制御ステップとをコンピュータに実行させる。

【0020】本発明の再生装置は、AVストリームの再生が指示された場合、AVストリームの内容を示すサムネイル画像の画像データを管理する管理データを読み出す第1の読み出し手段と、読み出し手段により読み出された管理データに基づき、画像データを読み出す第2の読み出し手段と、AVストリームから、特徴的な画面として抽出された画面のサムネイル画像の画像データか、または、ユーザにより指定された画面のサムネイル画像の画

像データと、その画像データを管理する管理データを読み出す第3の読み出し手段と、第3の読み出し手段により読み出された管理データに基づき、画像データを読み出す第4の読み出し手段とを含むことを特徴とする。

【0021】本発明の再生方法は、AVストリームの再生が指示された場合、AVストリームの内容を示すサムネイル画像の画像データを管理する管理データの読み出しを制御する第1の読み出し制御ステップと、読み出し制御ステップの処理で読み出しが制御された管理データに基づき、画像データの読み出しを制御する第2の読み出し制御ステップと、AVストリームから、特徴的な画面として抽出された画面のサムネイル画像の画像データか、または、ユーザにより指定された画面のサムネイル画像の画像データと、その画像データを管理する管理データを読み出す第3の読み出しステップと、第3の読み出し制御ステップとを含むことを特徴とする。

【0022】本発明の第2の記録媒体のプログラムは、AVストリームの再生が指示された場合、AVストリームの内容を示すサムネイル画像の画像データを管理する管理データの読み出しを制御する第1の読み出し制御ステップと、読み出し制御ステップの処理で読み出しが制御された管理データに基づき、画像データの読み出しを制御する第2の読み出し制御ステップと、AVストリームから、特徴的な画面として抽出された画面のサムネイル画像の画像データか、または、ユーザにより指定された画面のサムネイル画像の画像データと、その画像データを管理する管理データを読み出す第3の読み出しステップと、第3の読み出し制御ステップの処理で読み出しが制御された管理データに基づき、画像データを読み出す第4の読み出しステップとを含むことを特徴とする。

【0023】本発明の第2のプログラムは、AVストリームの再生が指示された場合、AVストリームの内容を示すサムネイル画像の画像データを管理する管理データの読み出しを制御する第1の読み出し制御ステップと、読み出し制御ステップの処理で読み出しが制御された管理データに基づき、画像データの読み出しを制御する第2の読み出し制御ステップと、AVストリームから、特徴的な画面として抽出された画面のサムネイル画像の画像データか、または、ユーザにより指定された画面のサムネイル画像の画像データと、その画像データを管理する管理データを読み出す第3の読み出しステップと、第3の読み出し制御ステップの処理で読み出しが制御された管理データに基づき、画像データを読み出す第4の読み出しステップとを含むことを特徴とする。

【0024】本発明の第3の記録媒体は、AVストリーム、AVストリームから、AVストリームの内容を示すサムネイル画像の画像データと、そのサムネイル画像のデータを管理する管理データから構成される第1のデータ、

および、AVストリームから、特徴的な画面として抽出された画面のサムネイル画像の画像データか、または、ユーザが指定した画面のサムネイル画像の画像データと、その画像データを管理する管理データから構成される第2のデータが記録されていることを特徴とする。

【0025】本発明の記録装置および方法、並びに第1のプログラムにおいては、入力された動画像データから、当該動画像データを代表するサムネイル画像が第1のサムネイルデータとして生成されると共に、動画像データから、特徴的な画像として抽出された画像のサムネイル画像か、または、ユーザが指定した画像のサムネイル画像が第2のサムネイルデータとして生成され、第1のサムネイルデータと第2のサムネイルデータが、各自独立したグループとして記録媒体に記録される。

【0026】本発明の再生装置および方法、並びに第2のプログラムにおいては、AVストリームの再生が指示された場合、AVストリームの内容を示すサムネイル画像の画像データを管理する管理データが読み出され、読み出された管理データに基づき、画像データが読み出され、AVストリームから、特徴的な画面として抽出された画面のサムネイル画像の画像データか、または、ユーザにより指定された画面のサムネイル画像の画像データと、その画像データを管理する管理データが読み出され、読み出された管理データに基づき、画像データが読み出される。

【0027】
【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施の形態について、図面を参照して説明する。図1は、本発明を適用した記録再生装置1の内部構成例を示す図である。ま
ず、外部から入力された信号を記録媒体に記録する動作を行う部分の構成について説明する。記録再生装置1は、アナログデータ、または、デジタルデータを入力し、記録することができる構成とされている。

【0028】端子11には、アナログのビデオ信号が、端子12には、アナログのオーディオ信号が、それぞれ入力される。端子11に入力されたビデオ信号は、解析部14とAVエンコーダ15に、それぞれ出力される。端子12に入力されたオーディオ信号は、AVエンコーダ15にのみ出力される。解析部14は、入力されたビデオ信号からシーンチェンジなどの特徴点を抽出する。

【0029】AVエンコーダ15は、入力されたビデオ信号とオーディオ信号を、それぞれ符号化し、符号化ビデオストリーム(V)、符号化オーディオストリーム(A)、およびAV同期等のシステム情報(S)をマルチプレクサ16に出力する。

【0030】符号化ビデオストリームは、例えば、MPEG (Moving Picture Expert Group) 2方式により符号化されたビデオストリームであり、符号化オーディオストリームは、例えば、MPEG 1方式により符号化されたオーディオストリームや、ドルビーAC3方式により符号化さ

れたオーディオストリーム等である。マルチプレクサ16は、入力されたビデオおよびオーディオのストリームを、入力システム情報に基づいて多重化して、スイッチ17を介して多重化ストリーム解析部18とソースパケットタイザ19に出力する。

【0031】多重化ストリームは、例えば、MPEG2トランスポートストリームやMPEG2プログラムストリームである。ソースパケットタイザ19は、入力された多重化ストリームを、そのストリームを記録させる記録媒体100のアプリケーションフォーマットに従って、ソースパケットから構成されるAVストリームを符号化する。AVストリームは、ECC（誤り訂正）符号化部20、変調部21で所定の処理が施され、書き込み部22に出力される。書き込み部22は、制御部23から出力される制御信号に基づいて、記録媒体100にAVストリームファイルを書き込む（記録する）。

【0032】デジタルインターフェースまたはデジタルテレビジョンチューナから入力されるデジタルテレビジョン放送等のトランスポートストリームは、端子13に入力される。端子13に入力されたトランスポートストリームの記録方式には、2通りあり、それらは、トランスペアレントに記録する方式と、記録ビットレートを下げるなどの目的のために再エンコードをした後に記録する方式である。記録方式の指示情報は、ユーザインターフェースとしての端子24から制御部23へ入力される。

【0033】入力トランスポートストリームをトランスペアレントに記録する場合、端子13に入力されたトランスポートストリームは、多重化ストリーム解析部18と、ソースパケットタイザ19に出力される。これ以降の記録媒体100へAVストリームが記録されるまでの処理は、上述の入力オーディオ信号とビデオ信号を符号化して記録する場合と同一の処理なので、その説明は省略する。

【0034】入力トランスポートストリームを再エンコードした後に記録する場合、端子13に入力されたトランスポートストリームは、デマルチプレクサ26に入力される。デマルチプレクサ26は、入力されたトランスポートストリームに対してデマルチプレクス処理を施し、ビデオストリーム(V)、オーディオストリーム(A)、およびシステム情報(S)を抽出する。

【0035】デマルチプレクサ26により抽出されたストリーム（情報）のうち、ビデオストリームはAVデコーダ27に、オーディオストリームとシステム情報はマルチプレクサ16に、それぞれ出力される。AVデコーダ27は、入力されたビデオストリームを復号し、その再生ビデオ信号をAVエンコーダ15に出力する。AVエンコーダ15は、入力ビデオ信号を符号化し、符号化ビデオストリーム(V)をマルチプレクサ16に出力する。

【0036】一方、デマルチプレクサ26から出力され、マルチプレクサ16に入力されたオーディオストリームとシステム情報、および、AVエンコーダ15から出力されたビデオストリームは、入力システム情報に基づいて、多重化されて、多重化ストリームとして多重化ストリーム解析部18とソースパケットタイザ19にスイッチ17を介して出力される。これ以後の記録媒体100へAVストリームが記録されるまでの処理は、上述の入力オーディオ信号と、ビデオ信号を符号化して記録する場合と同一の処理なので、その説明は省略する。

ームとシステム情報、および、AVエンコーダ15から出力されたビデオストリームは、入力システム情報に基づいて、多重化されて、多重化ストリームとして多重化ストリーム解析部18とソースパケットタイザ19にスイッチ17を介して出力される。これ以後の記録媒体100へAVストリームが記録されるまでの処理は、上述の入力オーディオ信号と、ビデオ信号を符号化して記録する場合と同一の処理なので、その説明は省略する。

【0037】本実施の形態の記録再生装置1は、AVストリームのファイルを記録媒体100に記録すると共に、そのファイルを説明するアプリケーションデータベース情報も記録する。アプリケーションデータベース情報は、制御部23により作成される。制御部23への入力情報は、解析部14からの動画像の特徴情報、多重化ストリーム解析部18からのAVストリームの特徴情報、および端子24から入力されるユーザからの指示情報である。

【0038】解析部14から供給される動画像の特徴情報は、入力動画像信号の中の特徴的な画像に関する情報であり、例えば、プログラムの開始点、シーンエンジ点、コマーシャル(CM)の開始・終了点などの指定情報（マーク）であり、また、その指定場所の画像のサムネイル画像の情報も含まれる。

【0039】多重化ストリーム解析部18からのAVストリームの特徴情報は、記録されるAVストリームの符号化情報に関する情報であり、例えば、AVストリーム内のIピクチャのアドレス情報、AVストリームの符号化パラメータ、AVストリームの中の符号化パラメータの変化点情報、ビデオストリームの中の特徴的な画像に関する情報（マーク）などである。

【0040】端子24からのユーザの指示情報は、AVストリームの中の、ユーザが指定した再生区間の指定情報、その再生区間の内容を説明するキャラクター文字、ユーザが好みのシーンにセットするブックマークやリジューム点の情報などである。

【0041】制御部23は、上記の入力情報に基づいて、AVストリームのデータベース(Clip)、AVストリームの再生区間(PlayItem)をグループ化したもの(PlayList)のデータベース、記録媒体100の記録内容の管理情報(info.dvr)、およびサムネイル画像の情報を作成する。これらの情報から構成されるアプリケーションデータベース情報は、AVストリームと同様にして、ECC符号化部20、変調部21で処理されて、書き込み部22へ入力される。書き込み部22は、制御部23から出力される制御信号に基づいて、記録媒体100へデータベースファイルを記録する。

【0042】上述したアプリケーションデータベース情報についての詳細は後述する。

【0043】このようにして記録媒体100に記録されたAVストリームファイル（画像データと音声データのフ

イル)と、アプリケーションデータベース情報が再生される場合、まず、制御部23は、読み出し部28に対して、記録媒体100からアプリケーションデータベース情報を読み出すように指示する。そして、読み出し部28は、記録媒体100からアプリケーションデータベース情報を読み出し、そのアプリケーションデータベース情報は、復調部29、ECC復号部30の処理を経て、制御部23へ入力される。

【0044】制御部23は、アプリケーションデータベース情報に基づいて、記録媒体100に記録されているPlayListの一覧を端子24のユーザインターフェースへ出力する。ユーザは、PlayListの一覧から再生したいPlayListを選択し、再生を指定されたPlayListに関する情報が制御部23へ入力される。制御部23は、そのPlayListの再生に必要なAVストリームファイルの読み出しが、読み出し部28に指示する。読み出し部28は、その指示に従い、記録媒体100から対応するAVストリームを読み出し復調部29に出力する。復調部29に入力されたAVストリームは、所定の処理が施されることにより復調され、さらにECC復号部30の処理を経て、ソースデパケッタイザ31出力される。

【0045】ソースデパケッタイザ31は、記録媒体100から読み出され、所定の処理が施されたアプリケーションフォーマットのAVストリームを、デマルチプレクサ26に出力できるストリームに変換する。デマルチプレクサ26は、制御部23により指定されたAVストリームの再生区間(PlayItem)を構成するビデオストリーム(V)、オーディオストリーム(A)、およびAV同期等のシステム情報(S)を、AVデコーダ27に出力する。AVデコーダ27は、ビデオストリームとオーディオストリームを復号し、再生ビデオ信号と再生オーディオ信号を、それぞれ対応する端子32と端子33から出力する。

【0046】また、ユーザインターフェースとしての端子24から、ランダムアクセス再生や特殊再生を指示する情報が入力された場合、制御部23は、AVストリームのデータベース(Clip)の内容に基づいて、記憶媒体100からのAVストリームの読み出し位置を決定し、そのAVストリームの読み出しが、読み出し部28に指示する。例えば、ユーザにより選択されたPlayListを、所定の時刻から再生する場合、制御部23は、指定された時刻に最も近いタイムスタンプを持つIピクチャからのデータを読み出すように読み出し部28に指示する。

【0047】また、ユーザによって高速再生(Fast-forward playback)が指示された場合、制御部23は、AVストリームのデータベース(Clip)に基づいて、AVストリームの中のIピクチャデータを順次連続して読み出すように読み出し部28に指示する。

【0048】読み出し部28は、指定されたランダムアクセスポイントからAVストリームのデータを読み出し、読み出されたデータは、後段の各部の処理を経て再生さ

れる。

【0049】次に、ユーザが、記録媒体100に記録されているAVストリームの編集をする場合を説明する。ユーザが、記録媒体100に記録されているAVストリームの再生区間を指定して新しい再生経路を作成したい場合、例えば、番組Aという歌番組から歌手Aの部分を再生し、その後続けて、番組Bという歌番組の歌手Aの部分を再生したいといった再生経路を作成したい場合、ユーザインターフェースとしての端子24から再生区間の開始点(イン点)と終了点(アウト点)の情報が制御部23に入力される。制御部23は、AVストリームの再生区間(PlayItem)をグループ化したもの(PlayList)のデータベースを作成する。

【0050】ユーザが、記録媒体100に記録されているAVストリームの一部を消去したい場合、ユーザインターフェースとしての端子24から消去区間のイン点とアウト点の情報が制御部23に入力される。制御部23は、必要なAVストリーム部分だけを参照するようにPlayListのデータベースを変更する。また、AVストリームの不必要的ストリーム部分を消去するように、書き込み部22に指示する。

【0051】ユーザが、記録媒体100に記録されているAVストリームの再生区間を指定して新しい再生経路を作成したい場合であり、かつ、それぞれの再生区間をシームレスに接続したい場合について説明する。このような場合、制御部23は、AVストリームの再生区間(PlayItem)をグループ化したもの(PlayList)のデータベースを作成し、さらに、再生区間の接続点付近のビデオストリームの部分的な再エンコードと再多重化を行う。

【0052】まず、端子24から再生区間のイン点のピクチャの情報と、アウト点のピクチャの情報が制御部23へ入力される。制御部23は、読み出し部28にイン点側のピクチャとアウト点側のピクチャを再生するために必要なデータの読み出しが指示する。そして、読み出し部28は、記録媒体100からデータを読み出し、そのデータは、復調部29、ECC復号部30、ソースデパケッタイザ31を経て、デマルチプレクサ26に出力される。

【0053】制御部23は、デマルチプレクサ26に入力されたデータを解析して、ビデオストリームの再エンコード方法(picture_coding_typeの変更、再エンコードする符号化ビット量の割り当て)と、再多重化方式を決定し、その方式をAVエンコーダ15とマルチプレクサ16に供給する。

【0054】次に、デマルチプレクサ26は、入力されたストリームをビデオストリーム(V)、オーディオストリーム(A)、およびシステム情報(S)に分離する。ビデオストリームは、「AVデコーダ27に入力されるデータ」と「マルチプレクサ16に入力されるデータ」がある。前者のデータは、再エンコードするために必要なデータ

であり、これはAVデコーダ27で復号され、復号されたピクチャはAVエンコーダ15で再エンコードされて、ビデオストリームにされる。後者のデータは、再エンコードをしないで、オリジナルのストリームからコピーされるデータである。オーディオストリーム、システム情報については、直接、マルチプレクサ16に入力される。

【0055】マルチプレクサ16は、制御部23から入力された情報に基づいて、入力ストリームを多重化し、多重化ストリームを出力する。多重化ストリームは、EC(符号化部20、変調部21で処理されて、書き込み部22に入力される。書き込み部22は、制御部23から供給される制御信号に基づいて、記録媒体100にAVストリームを記録する。

【0056】このような記録再生装置1において記録媒体100に記録されるデータ(記録媒体100から再生されるデータ)について説明する。MPEG Video、MPEG Audio等の符号化方式で符号化され、MPEG-2 Systemsに従って多重化されたビットストリームを、ファイルシステムが扱うファイルの形にしてディスク(以下、適宜、記録媒体100をディスク状の記録媒体とし、ディスクと称する)に記録したものをAV(Audio Video)ストリームファイル(またはClip AVストリーム)と称する。

【0057】このようなAVストリームファイルの一部または全部の範囲を指定して、必要な部分だけを並べて再生する再生順序指定の仕組みを説明する。図2のように、AVストリームファイルの一部または全部の範囲を指定して、必要な部分だけを再生する再生順序指定がPlaylistである。Playlistは、ユーザから見て、ひとまとまりの単位である。最も簡単な構成になるのは、記録開始をしてから記録終了までの単位で、編集をしなければ、これが1つのPlaylistになる。

【0058】Playlistは、どのAVストリームを再生するかという、AVストリームファイルの指定と、そのファイル中の再生開始点(イン点)と再生終了点(アウト点)の集まりで構成される。AVストリームファイル、再生開始点、再生終了点等を1組とし、これをPlayitemと称する。すなわち、PlaylistはPlayitemの集合である。

【0059】図2に示したように、Playitemは、あるAVストリームファイルの、イン点、アウト点で指定する範囲を参照する。Playitemを再生するということは、そのPlayitemが参照するAVストリームの一部分を再生することになる。

【0060】AVストリームは、MPEG-TSの形などにマルチプレクスされているビットストリームであるが、このAVストリームが記録されるファイルとは別のファイルに、そのビットストリームに対して1対1に対応する情報(クリップ情報:Clip information)を保持する。これは、再生、編集をより容易にするために設けられている。このようなクリップ情報と、AVストリームの両方をひとまとまり(オブジェクト)とみなし、これをClip

(クリップ)と呼ぶ。すなわち、ClipはAVストリームと、それに付随する情報から構成される1つのオブジェクトである。

【0061】以上のような、関係をUML図で表すと、図3のようになる。図3のUML図で表されるAVストリームファイル、Clip、Playitem、Playlistの構造により、AVストリームファイルを変更しない、任意の部分だけを再生する非破壊再生順序指定が可能になる。

【0062】次に、本発明を実現するための、各種の情報が記録または再生される記録媒体(メディア)上のファイル配置について説明する。メディア上には、図4に示すように、info.dvr、menu.thmb(mark.thmb)、####.rpls(####.vpls)(####は任意の番号)、%%%%%.cli(pi(%%%は任意の番号)、および%%%%.m2ts(%%%は、各m2tsファイルがcliファイルと1対1に対応するような番号)の、5種類のファイルが記録される。

【0063】ディスク上にディレクトリ/DVRを用意し、このディレクトリの下が、1つのディスク記録再生システムで管理される範囲とする。/DVRは、ディスクのルートディレクトリにあっても良いし、所定のディレクトリの下に存在していても良い。/DVRディレクトリには、info.dvr、menu.thmb、mark.thmbというファイルが置かれる。また、/DVRの下には、/PLAYLIST、/CLIPINF、/M2TSというディレクトリが置かれる。ファイル####.rpls、####.vplsは、/PLAYLISTの下に置かれ、/CLIPINFには%%%cli(piが置かれ、/M2TSには、%%%m2tsが置かれる。

【0064】ファイルinfo.dvrは、/DVRの下にただ1つある。info.dvrの構造は、図5に示したようなシンタクスで表される。ファイルの内部は、機能別の情報ごとにブロックを構成しており、volumeに関する情報はDVRVolume()に、Playlistの並びに関する情報はTableOfPlaylists()に、記録再生装置1のメーカ固有の情報はMakerPrivateData()に、それぞれ格納される。ファイルの先頭部分には、それらのブロックの先頭を表すアドレスが記述されている。例えば、TableOfPlaylists_Start_addressは、TableOfPlaylists()が開始する位置を、ファイル内での相対バイト数で表したものになっている。

【0065】DVRVolume()の構造は図6に示したようなシンタクスで表される。version_numberは、DVRVolume()のバージョン番号を表し、lengthは、length直後のフィールドからDVRVolume()の最後までの長さをバイトで表したものである。ResumeVolume()はresumeに関する情報を格納し、UIAppInfoVolume()はVolumeの属性情報を格納する領域である。

【0066】図7は、UIAppInfoVolume()のシンタクスを表したものである。character_setは、Volume_nameフィールドに符号化されているキャラクター文字の符号化方法を示す。その符号化方法としては、ASCII、Unicode等を選択できる。name_lengthは、Volume_nameフィール

ドの中に示されるボリューム（ディスク）名のバイト長を示す。Volume_nameは、ボリューム（ディスク）の名前を示す。このフィールドの中の左からname_length数のバイト数が、有効なキャラクター文字であり、それはボリューム（ディスク）の名前を示す。

【0067】Volume_nameフィールドの中で、それら有効なキャラクター文字の後の値は、どんな値が入っていても良い。Volume_protect_flagは、そのボリュームの中のコンテンツをユーザに制限することなしに見せてよいかどうかを示すフラグである。このフラグが1にセットされている場合、ユーザが正しくPIN番号（図7中のPIN）を入力できた場合にだけ、ユーザは、そのボリュームのコンテンツを視聴する事ができる。このフラグが0にセットされている場合、ユーザがPIN番号を入力しなくても、ユーザが、そのボリュームのコンテンツを視聴する事ができる。最初に、ユーザが、ディスクをプレーヤ（記録再生装置1）へ挿入した時において、もしこのフラグが0にセットされているか、または、このフラグが1にセットされてもユーザがPIN番号を正しく入力できたならば、プレーヤーは、そのセットされたディスクの中のPlayListの一覧を表示させる。

【0068】以上は、Volumeに対しての再生制限であるが、それぞれのPlayListの再生制限については、Volume_protect_flagとは無関係であり、それは後述する図9のUIAppInfoPlayList()の中で定義されるplayback_control_flagによって示される。PINは、4個の0乃至9までの数字であり、それぞれの数字は、ISO/IEC 646に従って符号化される。ref_thumbnail_indexは、Volumeを代表するサムネイルが存在する場合、そのサムネイルを特定するための番号を格納する領域である。ref_thumbnail_indexで指定されるthumbnail_indexを持つ、ファイルmenu.thmb中のサムネイルが、Volumeを代表するメニュー（本発明では、VolumeやPlayListを代表するサムネイルを特にメニュー・サムネイルと称する）となる。

【0069】rp_info_valid_flagは、これが1である場合に次に続くrp_ref_to_PlayList_file_name, rp_ref_to_PlayItem_idおよびrp_time_stampが有効な値を持つことを示す。rp_ref_to_PlayList_file_nameは、上記のVolumeを代表するメニュー・サムネイルが、所定のPlayList中の画像から抜き出された画像から作られていることを示し、そのPlayListファイルの名前を示す。

【0070】rp_ref_to_PlayItem_idは、rp_ref_to_PlayList_file_nameで示されるPlayList中の1つのPlayItemを指すPlayItem_idを示し、上記のVolumeを代表するメニュー・サムネイルが、そのPlayItem中の画像から抜き出された画像から作られていることを示す。rp_time_stampは、rp_ref_to_PlayItem_idが指すPlayItem中の1つの画像のプレゼンテーションタイムスタンプを示し、その画像から上記のVolumeを代表するメニュー・サムネイル

が作られていることを示す。

【0071】図8は、TableOfPlayLists()のシンタクスを表したものである。ここでnumber_of_PlayListsはVolume中のPlayListの数を表し、PlayList_file_nameは### ##.rpls、 #####.vpls等のファイル名を指定するものである。UIAppInfoPlayList()には、PlayListの各種属性がかかれしており、シンタクスは図9のようになっている。図9に示したUIAppInfoPlayList()には、PlayListの再生には直接必要ではない、PlayListの名前、記録日時、記録時間、消去禁止の有無等の、各種属性情報が格納される。その中のref_thumbnail_indexにより、PlayListの代表画としてのサムネイルを指定することができる。すなわち、ref_thumbnail_indexで指定されるthumbnail_indexを持つ、ファイルmenu.thmb中のサムネイルが、このPlayListを代表するメニュー・サムネイルとなる。

【0072】rp_info_valid_flagは、これが1である場合に、次に続くrp_ref_to_PlayItem_idおよびrp_time_stampが有効な値を持つことを示す。rp_ref_to_PlayItem_idは、PlayListの中の1つのPlayItemを指すPlayItem_idを示し、PlayListを代表するメニュー・サムネイルが、そのPlayItem中の画像から抜き出された画像から作られていることを示す。rp_time_stampは、rp_ref_to_PlayItem_idが指すPlayItem中の1つの画像のプレゼンテーションタイムスタンプを示し、その画像からPlayListを代表するメニュー・サムネイルが作られていることを示す。

【0073】図4に示したファイル#####.clpiは、/CLIPINFの下に、各AVストリームファイル#####.m2tsに対応して1つ作られる。#####.clpiの構造は、図10に示すようになっている。ファイルの内部は、機能別的情報ごとにブロックを構成しており、Clipに関する情報はClipInfo()に、MPEG-2 systemsにおけるトランスポートストリームの時刻基準を表すPCR（プログラムクロックリフレンス）の不連続点に関する情報はSTC_Info()に、MPEG-2 systemsのprogram（プログラム）に関する情報はProgramInfo()に、AVストリーム中のランダムアクセス開始可能点等の特徴的な点を表すCPI（Characteristic Point Information）に関する情報はCPI()に、Clipにつけられた、頭出しのためのインデックス点やコマーシャルの開始・終了点などのマーク情報はClipMark()に、それぞれ格納される。ファイルの先頭部分には、それらのブロックの先頭を表すアドレスが記述されている。

【0074】ここでは、サムネイルに関するブロックだけを説明する。本実施の形態においては、クリップにサムネイルを付ける操作は、クリップのマークにサムネイルを付与することで実現する。クリップに付けられるマークの情報は、ClipMark()に格納されている。図11に、ClipMark()のシンタクスを示す。シンタクス中のmark_typeが、resume、bookmark、skip等のマークの種類を表し、mark_time_stampでマークがつけられた時

刻を表す。サムネイルに関するフィールドは、ref_thumbnail_indexである。ref_thumbnail_indexは、ここでサムネイルの番号を指定することで、サムネイルのデータが格納されているmark.thmbファイル中のサムネイルを特定する。ref_thumbnail_indexで指定されるサムネイルが、このマークに付与されたマークサムネイル（本発明では、マークに付与されたサムネイルを特にマークサムネイルと称する）となる。

【0075】マークは、主としてClipおよびPlaylistの中のハイライトや特徴的なシーンを指示するためにある。また、マークより後の部分は再生を飛ばして、次のPlaylistの再生をするように指示するスキップ機能も、マークによって実現できる。図12は、マークがClip、Playlistに付けられている様子を図で示したものである。以下にマークの特徴をまとめる。

【0076】Clipに付加されるマークは、AVストリームの内容に起因する特徴的なシーン、例えば、シーンチェンジ点などを指定する。Playlistを再生する時には、そのPlaylistが参照しているClip中のマークを利用してランダムアクセス等ができる。図12では、Clipに対してcommercial(CM)とsceneという、2種類のマークが付けられているが、commercialのマークは左のPlaylistから、sceneマークは二つのPlaylistから利用されている。Playlistに付加されるマークは、主としてユーザによって設定される。例えば、ブックマークやリジューム点などである。図12では、bookmarkとresumeマークが相当する。

【0077】ClipまたはPlaylistにマークを設定することは、マークの時刻を示すタイムスタンプをマークリストに追加することにより行われる。また、マークを削除することは、マークリストの中からそのマークのタイムスタンプを除去する事である。それゆえ、マークの設定や削除は、AVストリームを何も変化させない。

【0078】次に、図4に示したファイル####.rpls、####.vplsについて説明するに、ファイル####.rpls、####.vplsは、/PLAYLISTの下に、各playlistに対してどちらか1つ作られる。####.rpls、####.vplsの構造は、図13に示すようになっている。ファイルの内部は、機能別の情報ごとにブロックを構成しており、Playlistに関する情報はPlayList()に、Playlistに付けられるマークの情報はPlayListMark()に、このPlaylistファイルを記録した記録再生装置のメーカ固有の情報はMakePrivateData()に、それぞれ格納される。ファイルの先頭部分には、ブロックの先頭を表すアドレス(PlayListMark_Start_address等)が記述されている。これにより、ブロックの前あるいは後ろにpadding_byteを挿入することが出来る。ただし、PlayList()の開始位置は固定で、ファイルの先頭から、例えば、256バイト目と設定されている。

【0079】ブロックPlayList()の内容は、図14のよ

うになっている。最初にversion_numberがあり、以下に続く情報のバージョン番号を表す。lengthは、lengthの直後のフィールドから、PlayList()の終わりまでのバイト長を表す。PlayList_typeは、このPlaylistの種類を表し、CPI_typeは、このPlaylistが持つCPIの種類を表す。number_of_PlayItemsは、このPlaylistを構成するPlayItemの数を表す。number_of_SubPlayItemsは、このPlaylistに付けられているアフレコオーディオ用のPlayItem(SubPlayitem)の数を表す。PlayItem()は、Playitemの情報を、SubPlayItem()は、SubPlayitemの情報を格納する。

【0080】ブロックPlayItem()の内容は、図15のようになっている。Clip_Information_file_nameは、このPlayItemが参照しているClip情報ファイル（拡張子がclipiであるファイル）のファイル名が文字列で格納されている。STC_sequence_idは、program中に存在する、PCRが連続な時間範囲の区間をあらわす。この区間内では、一貫した連続時間軸が定義できるようになっているので、PlayItemの開始・終了点を一意に定めることが出来る。つまり、各PlayItemの開始点と終了点は、同一のSTC_sequenceに存在していなければならない。

【0081】IN_timeは、このPlayItemの開始点の、STC_sequence上でのpts(Presentation Time Stamp)を表し、OUT_timeはPlayItemの終了点の、STC_sequence上でのptsを表す。connection_conditionは、このPlayitemが次のPlayitemとの間でどのような接続がされているかを表す情報であり、Playitemの間を継ぎ目なく再生できるかどうかの条件を表す。

【0082】BridgeSequnceInfo()は、Playitemの継ぎ目の部分で、本来再生すべきビットストリームとは異なるビットストリームに飛び、それを代わりに再生することで、Playitemの間をシームレスに再生する機能を実現する際に作成されるビットストリーム（ブリッジシーケンス）に関する情報を格納する。program_numberは、このPlayitemが参照しているprogram(MPEG Systemsで定義されている、ビデオ・オーディオ等のエレメンタリストリームのまとめをいう。いわゆるテレビジョン放送のチャンネルに相当するものである)のprogram_numberを表す。

【0083】以上が、Playlist、Playitemを構成するデータ構造の概要である。このようなデータ構造により、AVストリーム中の再生したい部分をIN、OUT点の組で指定したPlayitemの並びでPlaylistを構築し、ユーザが認識するひとまとまりの再生単位を管理することが可能になる。

【0084】本発明の実施の形態では、プレイリスト上の任意の時刻にサムネイルを付ける操作は、プレイリストのマークにサムネイルを付与することで実現している。PlayListに付けられるマークの情報は、PlayListMark()に格納されている。図16は、PlayListMark()のシ

ンタクスを示す図である。シンタクス中の`mark_type`が、`resume`、`bookmark`、`skip`等のマークの種類を表し、`mark_time_stamp`でマークがつけられた時刻を表す。`ref_thumbnail_index`は、ここでサムネイルの番号を指定することで、サムネイルのデータが格納されている`mark.thmb`ファイル中のサムネイルを特定する。`ref_t`
`humbnail_index`で指定されるサムネイルが、このマークに対応するマークサムネイルとなる。

【0085】次に、サムネイルの詳細について説明する。サムネイルとは、`Volume`、`Playlist`、`Clip`に付随する静止画のことを指す。サムネイルには2種類ある。一つは、内容を表す代表画としてのサムネイルである。これは主としてユーザがカーソルを操作して見たいものを選択するためのメニュー画面で使われる。もう一つは、マークが指しているシーンを表す画像である。

【0086】`Volume`と各`Playlist`は代表画を持つことができるようになる必要がある。`Volume`の代表画とは、ディスクをプレーヤに入れた時に、ディスクの内容を表す静止画を最初に表示する場合などに用いることを想定している。`Playlist`の代表画とは、`Playlist`を選択するメニュー画面において、`Playlist`の内容を表すための静止画として用いられることを想定している。

【0087】`Playlist`の代表画の最も簡単な実現方法は、`Playlist`の最初の画像をサムネイルにすることであるが、必ずしも再生時刻0の先頭の画像が内容を表す上で最適な画像とは限らない。そこで、`Playlist`のサムネイルとして、任意の画像を決めることが出来るようにしておく。以上2種類のサムネイルをメニューサムネイルと称する。メニューサムネイルは、頻繁に表示されるため、ディスクから高速に読み出されることが可能である必要がある。この要求を満たすには、全てのメニューサムネイルを1つのファイルに格納することが効率的である。必ずしもボリューム内の動画から抜き出したピクチャだけではなく、図17に示すように、パーソナルコンピュータやデジタルスチルカメラから取り込んだ画像でもよい。

【0088】一方、`Clip`と`Playlist`は複数個のマークを打てる必要があり、マーク位置の内容を知るためにマーク点の画像を容易に見ることが出来るようにする必要がある。このようなマーク点を表すピクチャをマークサムネイルと称する。よって、サムネイルの元となるものは、図18や図19に示したように、外部から取り込んだ画像よりも、マーク点の画像を抜き出したものが主となる。メニューサムネイルと異なり、マークサムネイルは`Playlist`の詳細を表す時に使われるサブメニュー等で使われるため、短いアクセス時間で読み出されなくて良い。

【0089】そのため、サムネイルが必要になる度に、プレイヤーがファイルを開き、ファイルの一部を読み出すことで多少時間がかかるても、問題にはならない。ま

た、ボリューム内に存在するファイル数を減らすために、すべてのマークサムネイルは一つのファイルに格納するのがよい。`Playlist`はメニューサムネイル一つと複数のマークサムネイルを有することができるが、`Clip`は直接ユーザが選択する必要性がない（通常、`Playlist`経由で指定する）ため、メニューサムネイルを持つことはしない。図20は、以上の関係を示した図である。

【0090】サムネイルは頻繁に追加、削除されるので、追加操作と部分削除の操作は容易に、かつ、高速に実行されなければならない。この理由のため、`Thumbnail()`はブロック構造を有する。画像のデータはいくつかの部分に分割され、各部分は1つの`tn_block()`に格納される。1つの画像データは、連続した`tn_block()`に格納される。`tn_block()`の列には、使用されていない`tn_block()`が存在してもよい。1つのサムネイル画像のバイト長は可変である。

【0091】図21は、サムネイルのデータを格納するファイルのシンタクスである。このファイルには、`Thumbnail()`がただ一つ存在する。図22は、`Thumbnail()`の20シンタクスを表す。`version_number`は、この`Thumbnail()`のバージョンナンバーを示す4個のキャラクター文字を表す。`length`は、この`length`フィールドの直後から`Thumbnail()`の最後までの`Thumbnail()`のバイト数を示す32ビットの符号なし整数である。`tn_blocks_start_address`は、`Thumbnail()`中の最初の`tn_block()`の、`Thumbnail()`の先頭からの開始バイトアドレスを示す32ビットの符号なし整数である。

【0092】`number_of_thumbnails`は、この`Thumbnail()`に格納されているサムネイル画像の数を示す16ビットの符号なし整数である。`tn_block_size`は、1`tn_block()`の大きさをキロバイト単位で表す16ビットの符号なし整数である。例えば、`tn_block_size`が1であるのは、1つの`tn_block()`のサイズが1024バイトであることを表す。`number_of_tn_blocks`は、この`Thumbnail()`中の`tn_block()`の数を表す16ビットの符号なし整数である。

【0093】`thumbnail_index`は、この`Thumbnail_index`フィールドから始まるforループ1回分のサムネイル情報で表されるサムネイルのインデックス番号を表す16ビットの符号なし整数である。`Thumbnail_index`として、`0xFFFF`という値を使用してはならない。`Thumbnail_index`は`ref_thumbnail_index`によって参照される。`tn_picture_format`は、サムネイル画像のピクチャフォーマットを表す8ビットの符号なし整数で、図23に示したような値をとる。図23中のDCF (Design rule for Camera File System) とPNG (Portable Network Graphics) は"menu.thmb" 内でのみ許される。すなわちマークサムネイルは、値"0x00" (MPEG-2 Video I-picture) とならない。

【0094】`picture_data_size`は、符号化されたサム

ネイル画像のバイト長を表す32ビットの符号なし整数である。`start_tn_block_number`は、サムネイル画像のデータが始まる`tn_block()`の`tn_block_number`を表す16ビットの符号なし整数である。サムネイル画像データの先頭は、`tb_block`の先頭と一致していなければならぬ。`start_tn_block_number`は、0から始まり、`tn_block`のfor-ループ中の変数kの値に関係している。`x_picture_length`は、サムネイル画像の水平方向のピクセル数を表す16ビットの符号なし整数である。

【0095】`y_picture_length`は、サムネイル画像の垂直方向のピクセル数を表す16ビットの符号なし整数である。`tn_block()`は、ピクチャデータを格納する領域である。`thumbnail()`中のすべての`tn_block()`は、`tn_block_size`で定められる同一の大きさを有していなければならない。図24は、画像データがどのように`tn_block()`に格納されるかを模式的に表した図である。図24に示したように、各画像データは`tn_block()`の先頭から始まり、1`tn_block()`を超える大きさの場合は、連続する次の`tn_block()`を使用することにより格納される。

【0096】画像データは、可変長であるが、1`tn_block()`は、固定長である。このように、可変長であるデータを固定長のデータに変換して扱うようにすることにより、新たな画像データの追加や、画像データの削除といった処理に対してブロック単位で対処できるため、アドレスの管理など、簡便に行なうことが可能となる。

【0097】ここで、サムネイル記録についてのディレクトリ・ファイル構造、シンタックスの別案を示す。まず、図4で表されるディレクトリ・ファイル構造の別案として、図25の構造が考えられる。図4では、マークサムネイルを記録するためのファイルが/DVRの下に1つ、`mark.thmb`だけであるのに対し、図25では、プレイリスト、クリップごとに1対1に対応してファイル`xx`
`xxx.thmb`(xxxxxは対応するプレイリストまたはクリップをあらわす、拡張子を除いたファイル名)が作られている。

【0098】例えば、####.rplsで表されるプレイリストが有するマークサムネイルの画像は、同じディレクトリ内の####.thmbに格納されることになる。同様に、####.clpiで表されるクリップが有するマークサムネイルの画像は、同じディレクトリ内の####.thmbに格納されることになる。プレイリスト・クリップのマークサムネイルは、ファイルの拡張子を除いた名前の部分が同一の。`thmb`ファイルに記録されるという制約があるだけで、`xxxxx.thmb`内のシンタックスは、図26のように、`menu.thmb`や`mark.thmb`(図21)と同一である。

【0099】また、プレイリストのメニュー・サムネイルについて、図8、図9では、サムネイルを特定する`ref_thumbnail_index`を、ファイル`Info.dvr`の`TableOfPlayLists()`中の`UIAppInfoPlayList()`に置いているが、`UIAppInfoPlayList()`を`Info.dvr`ではなく、各プレイリスト

ファイル中に入れる方法もある。このような場合、`UIAppInfoPlayList()`を、`TableOfPlayLists()`から、プレイリストファイル中の`playlist()`へ移すことになり、図8に示したシンタックスは図27に示すシンタックスのようになり、図14に示したシンタックスは図28に示すシンタックスのようになる。図28中の`UIAppInfoPlayList()`は、図29に示すシンタックスのようになり、ここに`ref_thumbnail_index`が入る。

【0100】以上のようなファイル、シンタックスでもサムネイルの記録が可能である。

【0101】次に、図30に示したフローチャートを参照して、マークサムネイルの作成について説明する。ステップS1において、ユーザは、再生したい`PlayList`(プレイリスト)を選択する。ステップS2において、選択された`PlayList`に基づいて、AVストリームの再生が開始される。ステップS3において、ユーザは、再生されているAVストリームを視聴し、マークしたいシーンを探索する。ユーザは、マークしたいシーンが探索できた場合、記録再生装置1に付属するリモートコントローラ(不図示)のマークボタンを操作する。この操作は、再生中に操作されても、一時停止された状態で操作されても良い。

【0102】ステップS3において、ユーザによりマークボタンが操作されると、ステップS4において、ユーザの指示に対応する処理としてマーク位置が決定される。マーク位置が決定されると、ステップS5において、サムネイル画像にする画像の選択が行われる。マーク位置が指示された時点で、制御部23(図1)は、サムネイルを作成するかどうかをユーザに尋ね、作成する場合には、サムネイルとする画像の候補をコマ送り等によりユーザに提供し、ユーザがサムネイル画像を選択するようにも良い。

【0103】ユーザ、または、制御部23により、サムネイル画像にする画像が選択されると、制御部23は、ステップS6において、AVデコーダ15から画像を取り込み制御部23のRAM(Random Access Memory)(不図示)に転送する。ステップS7において、画像を圧縮するか否かが判断され、画像を圧縮すると判断された場合、制御部23は、ステップS8に進み、画像圧縮を行い、再びデータをRAMに戻す。ステップS7において、画像を圧縮しないと判断された場合、ステップS8の処理はスキップされ、ステップS9に進む。

【0104】ステップS9において、制御部23は、サムネイルの符号化方式、サムネイルを識別する`thumbnail_id`、サイズ(バイト数)、X、Y方向のピクセル数から構成されるサムネイルのヘッダ情報を作成し、画像データを`tn_block()`の単位に分割する。ステップS10において、ECC符号化ブロック20にヘッダ情報を`tn_block()`の形に分割した画像データが転送され、書き込み部50 22を経て、`mark.thmb`ファイルとして記録媒体100

に書き込まれる。

【0105】次に、メニューサムネイルを作成について、図31に示したフローチャートを参照して説明する。メニューサムネイルはボリュームまたは各プレイリストに対して付けられるので、制御部23は、ステップS21において、ユーザに対して、メニューサムネイルをつける対象を選択させる。ステップS22において、制御部23は、サムネイルを外部から取り込むか、プレイリスト中のあるシーンから取り込むかをユーザに選択させる。

【0106】ステップS22において、サムネイルを外部から取り込むと判断された場合、ステップS23に進み、ユーザが指定した入力端子あるいはファイルから画像データが取り込まれる。取り込みが終了されると、ステップS26に進む。

【0107】一方、ステップS22において、サムネイルを外部から取り込むのではなくと判断された場合、ステップS24に進み、制御部23は、まず、ユーザに対して、どのプレイリストからサムネイル画像を取得するのかを選択させ、その後、選択されたプレイリストの再生を開始する。そして、ステップS25において、ユーザにサムネイルにしたいシーンを選択させる。

【0108】ステップS23、あるいは、ステップS25において、サムネイル画像が選択されると、ステップS26に進む。ステップS26以降の処理は、図30に示したフローチャートのステップS5以降の処理と同様であるので、その説明は省略する。

【0109】このように、サムネイル画像をプレイリストに付与することにより、それらのサムネイル画像を管理しやすくなり、記録されているAVストリームを再生する際にも、再生させるAVストリームの選択などの処理を簡便に行わせることが可能となる。

【0110】図32は、ディスク上につくられるディレクトリおよびファイルの別の例を示す図である。“menu.tidx”と“menu.tdat”は、メニューサムネール、すなわちVolumeを代表する1つのピクチャおよびPlayList毎に、それを代表する1つのピクチャの情報をストアする。すべてのメニューサムネールのヘッダ情報は、1つのmenu.tidxに集めて管理される。すべてのメニューサムネールのピクチャデータは、1つのmenu.tdatに集められて管理される。

【0111】“mark.tidx”と“mark.tdat”は、マークサムネール、すなわちマーク点で指されるピクチャについての情報をストアする。Volume中のすべてのClipおよびPlayListに付加されている、全てのマークサムネールのヘッダ情報は、1つのmark.tidxに集めて管理される。全てのマークサムネールのピクチャデータは、1つのmark.tdatに集めて管理される。

【0112】すなわち、このファイル構造では、サムネールのヘッダ情報とサムネールのピクチャデータが、別

々のファイルに分けて管理される。この理由は、ファイルシステムが行うファイルの管理方法に関係する。すなわち、サムネールのヘッダ情報のファイルは、比較的重要な情報であるため、ファイルシステムがディスク上にデータを2重書きして管理する。

【0113】これは、例えば、片方のデータがディスクの傷などによって失われてしまったような場合に対応できるようにするために、データのバックアップの意味合いをもつ。ピクチャデータのファイルは、2重書きはしないが、その理由は、ピクチャデータは比較的データ量が大きくなり、これを2重書きするとディスク上の必要容量が大きくなるためである。

【0114】menu.tdatおよびmark.tdatにストアされるピクチャデータの符号化方法、サンプリング構造、およびスキャン構造は、ピクチャ毎に符号化方法を変更することが可能であるが、全てのピクチャデータで同じであるほうが、記録再生装置1の構成を簡単化できる。例えば、JFIF (JPEG File Interchange Format)、コンポーネント信号、プログレッシブスキャンフォーマットが使用される。

【0115】これら4個のファイルのシンタクスとセマンティクスを説明する。“menu.tidx”と“mark.tidx”は、同じシンタクス構造を持つ。図33は、“menu.tidx”と“mark.tidx”的シンタクス構造を示す。version_numberは、このサムネールヘッダ情報ファイルのバージョンナンバーを示す4個の数字である。

【0116】lengthは、このlengthフィールドの直後のバイトからmenu.tidx/mark.tidxの最後のバイトまでのバイト数である。number_of_thumbnailsは、menu.tidxの場合にはmenu.tdatにストアされているサムネールピクチャの数であり、mark.tidxの場合、mark.tdatにストアされているサムネールピクチャの数である。

【0117】tn_block_sizeは、menu.tidxの場合、menu.tdatの中の1つのtn_blockのサイズを示し、mark.tidxの場合、mark.tdatの中の1つのtn_blockのサイズを示す。このサイズは、1024バイトを単位とする大きさである。例えば、tn_block_size=1は、1つのtn_blockのサイズが1024バイトであることを示す。1つのサムネールピクチャは、1つのtn_blockの中にストアされなければならない。

【0118】number_of_tn_blocksは、menu.tidxの場合、menu.tdatの中にあるtn_blockの数を示し、mark.tidxの場合にはmark.tdatの中にあるtn_blockの数を示す。thumbnail_indexは、このthumbnail_indexフィールドに続くサムネール情報のインデックス番号を表す。thumbnail_indexして、0xFFFFという値を使用してはならない。

【0119】menu.tidxの場合、thumbnail_indexはUIAppInfoVolume()、UIAppInfoPlayList()の中のref_thumbnail_indexによって参照される。mark.tidxの場合、thum

bnail_indexはPlayListMark()およびClipMark()の中のref_thumbnail_indexによって参照される。

【0120】ref_to_tn_block_idは、menu.tidxの場合、menu.tdat中の1つのtn_blockを示し、そのtn_blockは、thumbnail_indexで指されるピクチャデータをストアしている。ref_to_tn_block_idの値は、menu.tdatのシンタクス中のtn_block_idの値を参照する。

【0121】mark.tidxの場合、mark.tdat中の1つのtn_blockを示し、そのtn_blockは、thumbnail_indexで指されるピクチャデータをストアしている。ref_to_tn_block_idの値は、menu.tdatのシンタクス中のtn_block_idの値を参照する。

【0122】picture_byte_sizeは、thumbnail_indexで指される1つの符号化サムネールピクチャのデータ長をバイト単位で示す。picture_byte_sizeは、1024*tn_block_sizeの値以下でなければならない。すなわち、記録再生装置1は、1つの符号化サムネールピクチャのデータ長を1024*tn_block_sizeの値以下になるように、符号化しなければならない。

【0123】horizontal_picture_sizeは、thumbnail_indexで指される符号化サムネールピクチャの水平方向の画素数を示す。vertical_picture_sizeは、thumbnail_indexで指される符号化サムネールピクチャの垂直方向の画素数を示す。display_aspect_ratioは、thumbnail_indexで指される符号化サムネールピクチャのディスプレイ・アスペクト・レシオを示す。値の意味を図34に示す。

【0124】color_spaceは、Y,Cb,Crのコンポーネント信号をR,G,Bのコンポーネント信号へ変換する時のフォーマットを示す。値の意味を図35に示す。

【0125】"menu.tdat"と"mark.tdat"は、同じシンタクス構造を持つ。図36は、"menu.tdat"と"mark.tdat"のシンタクス構造を示す図である。tn_blockは、1つの符号化サムネールピクチャがストアされる領域である。1つのサムネールピクチャのバイト長は、1つのtn_blockの大きさ以下である。1つのピクチャデータの第1バイト目は、tn_blockの第1バイト目と一致していなければならない。

【0126】menu.tdatの場合、1つのtn_blockのサイズは、menu.tdatの中のtn_block_sizeで示される。mark.tdatの場合、1つのtn_blockのサイズはmark.tdatの中のtn_block_sizeで示される。各tn_blockは、それがシンタクス中のfor-loopの中で現れるときのtn_block_idの値で区別される。menu.tidx中のtn_block_idは、menu.tidx中のref_to_tn_block_idによって参照される。mark.tidx中のtn_block_idは、mark.tidx中のref_to_tn_block_idによって参照される。

【0127】サムネイルは頻繁に追加、削除されるので、追加操作と部分削除の操作は、容易に高速に実行できなければならない。この理由のため、menu.tdatとmark.tdatは、

k.tdatは、ブロック構造を有する。1つのピクチャデータは、1つのtn_blockに格納される。

【0128】menu.tdatおよびmark.tdatのtn_block列の中に、使用されていないtn_blockが存在してもよい。例えば、所定のサムネイルの削除をする場合、サムネールのヘッダ情報ファイルの中にエントリーされているthumbnail_indexを消去し、サムネールのピクチャデータファイルを何も変更しなかったとき、tn_block列の中に、使用されていないtn_blockができる。

10 【0129】図37は、サムネールピクチャデータが、どのようにtn_blockに格納されるかを模式的に表した図である。図37に示すように、1つのサムネールピクチャのバイト長は、1つのtn_blockの大きさ以下である。tn_block列の中に、使用されていないtn_blockが存在してもよい。

【0130】上述した実施の形態においては、例えば、menu.tbatとmark.tbatのファイルが2個に分けられて記録されるとして説明したが、それぞれのファイルをブロックと考え、menu.tbatのデータの第1のブロックと、mark.tbatのデータの第2のブロックを、1つのファイルにまとめて記録するようにしても良い。1つのファイルにまとめて記録するとは、例えば、Clip Information fileの中で、SequenceInfo、CPI、ClipMarkを別のブロックとして記録するような形態にしても良い。

【0131】上述した一連の処理は、ハードウェアにより実行させることもできるが、ソフトウェアにより実行させることもできる。一連の処理をソフトウェアにより実行させる場合には、そのソフトウェアを構成するプログラムが専用のハードウェアに組み込まれているコンピュータ、または、各種のプログラムをインストールすることで、各種の機能を実行することが可能な、例えば図38に示すような構成の汎用のパーソナルコンピュータなどに、記録媒体からインストールされる。

【0132】図38に示すパーソナルコンピュータにおいて、CPU(Central Processing Unit)201は、ROM(Read Only Memory)202に記憶されているプログラム、または記憶部208からRAM(Random Access Memory)203にロードされたプログラムに従って各種の処理を実行する。RAM203にはまた、CPU201が各種の処理を実行する上において必要なデータなども適宜記憶される。

【0133】CPU201、ROM202、およびRAM203は、バス204を介して相互に接続されている。このバス204にはまた、入出力インターフェース205も接続されている。

【0134】入出力インターフェース205には、キーボード、マウスなどよりなる入力部206、CRT、LCDなどよりなるディスプレイ、並びにスピーカなどよりなる出力部207、ハードディスクなどより構成される記憶部208、モ뎀、ターミナルアダプタなどより構成され

る通信部209が接続されている。通信部209は、ネットワークを介しての通信処理を行う。

【0135】入出力インターフェース205にはまた、必要に応じてドライブ210が接続され、磁気ディスク221、光ディスク222、光磁気ディスク223、或いは半導体メモリ224などが適宜装着され、それらから読み出されたコンピュータプログラムが、必要に応じて記憶部208にインストールされる。

【0136】この記録媒体は、図38に示すように、コンピュータとは別に、ユーザにプログラムを提供するために配布される、プログラムが記録されている磁気ディスク221(フロッピディスクを含む)、光ディスク222(CD-ROM(Compact Disk-Read Only Memory)、DVD(Digital Versatile Disk)を含む)、光磁気ディスク223(MD(Mini-Disk)を含む)、若しくは半導体メモリ224などよりなるパッケージメディアにより構成されるだけでなく、コンピュータに予め組み込まれた状態でユーザに提供される、プログラムが記憶されているROM202や記憶部208が含まれるハードディスクなどで構成される。

【0137】なお、本明細書において、媒体により提供されるプログラムを記述するステップは、記載された順序に従って、時系列的に行われる処理は勿論、必ずしも時系列的に処理されなくとも、並列的あるいは個別に実行される処理をも含むものである。

【0138】また、本明細書において、システムとは、複数の装置により構成される装置全体を表すものである。

【0139】

【発明の効果】以上のように、本発明の記録装置および方法、並びに第1のプログラムにおいては、入力された動画像データから、当該動画像データを代表するサムネイル画像を第1のサムネイルデータとして生成すると共に、動画像データから、特徴的な画像として抽出された画像のサムネイル画像か、または、ユーザが指定した画像のサムネイル画像を第2のサムネイルデータとして生成し、第1のサムネイルデータと第2のサムネイルデータを、各々独立したグループとして記録媒体に記録するようにしたので、その記録されている画像データを用いることにより、ユーザが記録されているデータの選択を行える。

【0140】また、本発明の再生装置および方法、並びに第2のプログラムによれば、AVストリームの再生が指示された場合、AVストリームの内容を示すサムネイル画像の画像データを管理する管理データを読み出し、読み出し手段により読み出された管理データに基づき、画像データを読み出し、AVストリームから、特徴的な画面として抽出された画面のサムネイル画像の画像データか、または、ユーザにより指定された画面のサムネイル画像の画像データと、その画像データを管理する管理データ

を読み出し、読み出された管理データに基づき、画像データを読み出すようにしたので、その読み出された管理データにより、ユーザが記録されているデータの選択を行える。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を適用した記録再生装置の一実施の形態の構成を示す図である。

【図2】ClipとPlaylistの関係を表す図である。

【図3】AVストリームを管理する構造のUML図である。

【図4】DVRシステムのディレクトリ構成を表す図である。

【図5】info.dvrを説明する図である。

【図6】DVRVolume()を説明する図である。

【図7】UIAppInfoVolume()を説明する図である。

【図8】TableOfPlayLists()を説明する図である。

【図9】UIAppInfoPlayList()を説明する図である。

【図10】zzzzz.clpiを説明する図である。

【図11】ClipMark()を説明する図である。

【図12】マークを説明する図である。

【図13】xxxxx.rpls、yyyyy.vplsを説明する図である。

【図14】Playlist()を説明する図である。

【図15】PlayItem()を説明する図である。

【図16】PlayListMark()を説明する図である。

【図17】メニュー サムネイルを説明する図である。

【図18】プレイリストに付けられるマークを説明する図である。

【図19】クリップに付けられるマークを説明する図である。

【図20】サムネイルを格納するファイルを説明する図である。

【図21】menu_thmb/mark.thmbを説明する図である。

【図22】Thumbnail()を説明する図である。

【図23】Thumbnail_picture_formatを説明する図である。

【図24】サムネイルの画像データをtn_block()に格納する方法を説明する図である。

【図25】他のディレクトリ・ファイル構造を示す図である。

【図26】図25に示したファイル構造に対応するmenu_thmb/mark.thmbを説明する図である。

【図27】図25に示したファイル構造に対応するTableOfPlayLists()を説明する図である。

【図28】図25に示したファイル構造に対応するPlaylist()を説明する図である。

【図29】図25に示したファイル構造に対応するUIAppInfoPlayList()を説明する図である。

【図30】マークサムネイルの作成手順を表したフローチャートである。

【図31】メニュー サムネイルの作成手順を表したフロ

一チャートである。

【図32】DVRシステムの他のディレクトリ構成を表す図である。

【図33】サムネールのヘッダ情報ファイルのシンタクスを示す図である。

【図34】display_aspect_ratioを説明する図である。

【図35】color_spaceを説明する図である。

【図36】サムネールのピクチャデータファイルのシンタクスを示す図である。

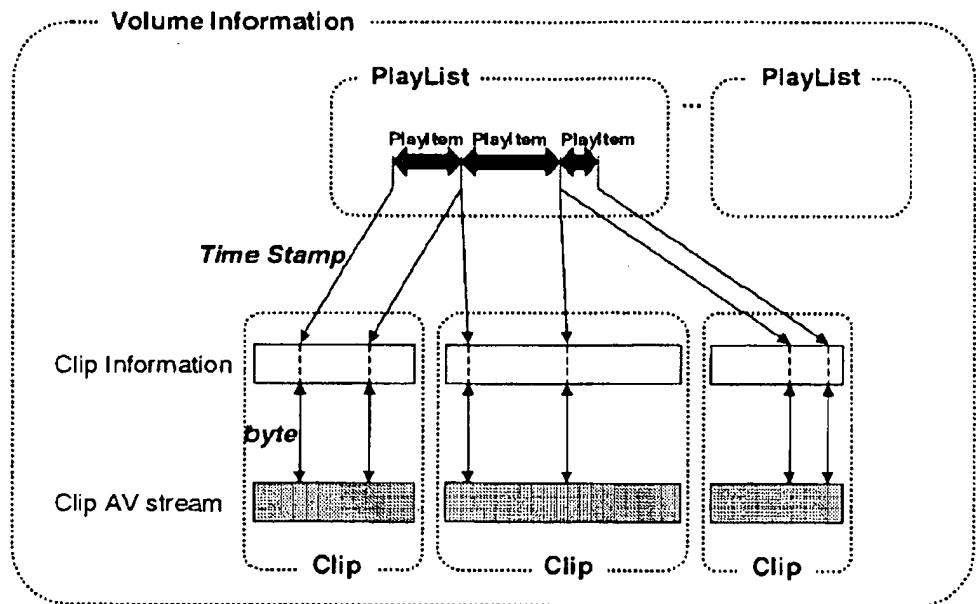
【図37】tn_blockへのデータの格納について説明する図である。

【図38】媒体を説明する図である。

【符号の説明】

1 記録再生装置, 11乃至13 端子, 14 解析部, 15 AVエンコーダ, 16 マルチブレクサ, 17 スイッチ, 18 多重化ストリーム解析部, 19 ソースパケッタイザ, 20 ECC符号化部, 21 変調部, 22 書き込み部, 23 制御部, 24 ユーザインターフェース, 25 スイッチ, 26 デマルチブレクサ, 27 AVデコーダ, 28 読み出し部, 29 検測部, 30 ECC復号部, 31 AVストリーム, 32 ビデオ出力, 33 オーディオ出力, 34 ユーザインターフェース入出力, 35 3再生部, 36 端子, 37 ビデオ入力, 38 オーディオ入力, 39 デジタルインターフェース入力, 40 デジタルTVチューナ入力, 41 11端子, 42 12端子, 43 13端子, 44 14端子, 45 15端子, 46 16端子, 47 17端子, 48 18端子, 49 19端子, 50 20端子, 51 21端子, 52 22端子, 53 23端子, 54 24端子, 55 25端子, 56 26端子, 57 27端子, 58 28端子, 59 29端子, 60 30端子, 61 31端子, 62 32端子, 63 33端子, 64 34端子, 65 35端子, 66 36端子, 67 37端子, 68 38端子, 69 39端子, 70 31端子, 71 32端子, 72 33端子, 73 34端子, 74 35端子, 75 36端子, 76 37端子, 77 38端子, 78 39端子, 79 31端子, 80 32端子, 81 33端子, 82 34端子, 83 35端子, 84 36端子, 85 37端子, 86 38端子, 87 39端子, 88 31端子, 89 32端子, 90 33端子, 91 34端子, 92 35端子, 93 36端子, 94 37端子, 95 38端子, 96 39端子, 97 31端子, 98 32端子, 99 33端子, 100 34端子, 101 35端子, 102 36端子, 103 37端子, 104 38端子, 105 39端子, 106 31端子, 107 32端子, 108 33端子, 109 34端子, 110 35端子, 111 36端子, 112 37端子, 113 38端子, 114 39端子, 115 31端子, 116 32端子, 117 33端子, 118 34端子, 119 35端子, 120 36端子, 121 37端子, 122 38端子, 123 39端子, 124 31端子, 125 32端子, 126 33端子, 127 34端子, 128 35端子, 129 36端子, 130 37端子, 131 38端子, 132 39端子, 133 31端子, 134 32端子, 135 33端子, 136 34端子, 137 35端子, 138 36端子, 139 37端子, 140 38端子, 141 39端子, 142 31端子, 143 32端子, 144 33端子, 145 34端子, 146 35端子, 147 36端子, 148 37端子, 149 38端子, 150 39端子, 151 31端子, 152 32端子, 153 33端子, 154 34端子, 155 35端子, 156 36端子, 157 37端子, 158 38端子, 159 39端子, 160 31端子, 161 32端子, 162 33端子, 163 34端子, 164 35端子, 165 36端子, 166 37端子, 167 38端子, 168 39端子, 169 31端子, 170 32端子, 171 33端子, 172 34端子, 173 35端子, 174 36端子, 175 37端子, 176 38端子, 177 39端子, 178 31端子, 179 32端子, 180 33端子, 181 34端子, 182 35端子, 183 36端子, 184 37端子, 185 38端子, 186 39端子, 187 31端子, 188 32端子, 189 33端子, 190 34端子, 191 35端子, 192 36端子, 193 37端子, 194 38端子, 195 39端子, 196 31端子, 197 32端子, 198 33端子, 199 34端子, 200 35端子, 201 36端子, 202 37端子, 203 38端子, 204 39端子, 205 31端子, 206 32端子, 207 33端子, 208 34端子, 209 35端子, 210 36端子, 211 37端子, 212 38端子, 213 39端子, 214 31端子, 215 32端子, 216 33端子, 217 34端子, 218 35端子, 219 36端子, 220 37端子, 221 38端子, 222 39端子, 223 31端子, 224 32端子, 225 33端子, 226 34端子, 227 35端子, 228 36端子, 229 37端子, 230 38端子, 231 39端子, 232 31端子, 233 32端子, 234 33端子, 235 34端子, 236 35端子, 237 36端子, 238 37端子, 239 38端子, 240 39端子, 241 31端子, 242 32端子, 243 33端子, 244 34端子, 245 35端子, 246 36端子, 247 37端子, 248 38端子, 249 39端子, 250 31端子, 251 32端子, 252 33端子, 253 34端子, 254 35端子, 255 36端子, 256 37端子, 257 38端子, 258 39端子, 259 31端子, 260 32端子, 261 33端子, 262 34端子, 263 35端子, 264 36端子, 265 37端子, 266 38端子, 267 39端子, 268 31端子, 269 32端子, 270 33端子, 271 34端子, 272 35端子, 273 36端子, 274 37端子, 275 38端子, 276 39端子, 277 31端子, 278 32端子, 279 33端子, 280 34端子, 281 35端子, 282 36端子, 283 37端子, 284 38端子, 285 39端子, 286 31端子, 287 32端子, 288 33端子, 289 34端子, 290 35端子, 291 36端子, 292 37端子, 293 38端子, 294 39端子, 295 31端子, 296 32端子, 297 33端子, 298 34端子, 299 35端子, 300 36端子, 301 37端子, 302 38端子, 303 39端子, 304 31端子, 305 32端子, 306 33端子, 307 34端子, 308 35端子, 309 36端子, 310 37端子, 311 38端子, 312 39端子, 313 31端子, 314 32端子, 315 33端子, 316 34端子, 317 35端子, 318 36端子, 319 37端子, 320 38端子, 321 39端子, 322 31端子, 323 32端子, 324 33端子, 325 34端子, 326 35端子, 327 36端子, 328 37端子, 329 38端子, 330 39端子, 331 31端子, 332 32端子, 333 33端子, 334 34端子, 335 35端子, 336 36端子, 337 37端子, 338 38端子, 339 39端子, 340 31端子, 341 32端子, 342 33端子, 343 34端子, 344 35端子, 345 36端子, 346 37端子, 347 38端子, 348 39端子, 349 31端子, 350 32端子, 351 33端子, 352 34端子, 353 35端子, 354 36端子, 355 37端子, 356 38端子, 357 39端子, 358 31端子, 359 32端子, 360 33端子, 361 34端子, 362 35端子, 363 36端子, 364 37端子, 365 38端子, 366 39端子, 367 31端子, 368 32端子, 369 33端子, 370 34端子, 371 35端子, 372 36端子, 373 37端子, 374 38端子, 375 39端子, 376 31端子, 377 32端子, 378 33端子, 379 34端子, 380 35端子, 381 36端子, 382 37端子, 383 38端子, 384 39端子, 385 31端子, 386 32端子, 387 33端子, 388 34端子, 389 35端子, 390 36端子, 391 37端子, 392 38端子, 393 39端子, 394 31端子, 395 32端子, 396 33端子, 397 34端子, 398 35端子, 399 36端子, 400 37端子, 401 38端子, 402 39端子, 403 31端子, 404 32端子, 405 33端子, 406 34端子, 407 35端子, 408 36端子, 409 37端子, 410 38端子, 411 39端子, 412 31端子, 413 32端子, 414 33端子, 415 34端子, 416 35端子, 417 36端子, 418 37端子, 419 38端子, 420 39端子, 421 31端子, 422 32端子, 423 33端子, 424 34端子, 425 35端子, 426 36端子, 427 37端子, 428 38端子, 429 39端子, 430 31端子, 431 32端子, 432 33端子, 433 34端子, 434 35端子, 435 36端子, 436 37端子, 437 38端子, 438 39端子, 439 31端子, 440 32端子, 441 33端子, 442 34端子, 443 35端子, 444 36端子, 445 37端子, 446 38端子, 447 39端子, 448 31端子, 449 32端子, 450 33端子, 451 34端子, 452 35端子, 453 36端子, 454 37端子, 455 38端子, 456 39端子, 457 31端子, 458 32端子, 459 33端子, 460 34端子, 461 35端子, 462 36端子, 463 37端子, 464 38端子, 465 39端子, 466 31端子, 467 32端子, 468 33端子, 469 34端子, 470 35端子, 471 36端子, 472 37端子, 473 38端子, 474 39端子, 475 31端子, 476 32端子, 477 33端子, 478 34端子, 479 35端子, 480 36端子, 481 37端子, 482 38端子, 483 39端子, 484 31端子, 485 32端子, 486 33端子, 487 34端子, 488 35端子, 489 36端子, 490 37端子, 491 38端子, 492 39端子, 493 31端子, 494 32端子, 495 33端子, 496 34端子, 497 35端子, 498 36端子, 499 37端子, 500 38端子, 501 39端子, 502 31端子, 503 32端子, 504 33端子, 505 34端子, 506 35端子, 507 36端子, 508 37端子, 509 38端子, 510 39端子, 511 31端子, 512 32端子, 513 33端子, 514 34端子, 515 35端子, 516 36端子, 517 37端子, 518 38端子, 519 39端子, 520 31端子, 521 32端子, 522 33端子, 523 34端子, 524 35端子, 525 36端子, 526 37端子, 527 38端子, 528 39端子, 529 31端子, 530 32端子, 531 33端子, 532 34端子, 533 35端子, 534 36端子, 535 37端子, 536 38端子, 537 39端子, 538 31端子, 539 32端子, 540 33端子, 541 34端子, 542 35端子, 543 36端子, 544 37端子, 545 38端子, 546 39端子, 547 31端子, 548 32端子, 549 33端子, 550 34端子, 551 35端子, 552 36端子, 553 37端子, 554 38端子, 555 39端子, 556 31端子, 557 32端子, 558 33端子, 559 34端子, 560 35端子, 561 36端子, 562 37端子, 563 38端子, 564 39端子, 565 31端子, 566 32端子, 567 33端子, 568 34端子, 569 35端子, 570 36端子, 571 37端子, 572 38端子, 573 39端子, 574 31端子, 575 32端子, 576 33端子, 577 34端子, 578 35端子, 579 36端子, 580 37端子, 581 38端子, 582 39端子, 583 31端子, 584 32端子, 585 33端子, 586 34端子, 587 35端子, 588 36端子, 589 37端子, 590 38端子, 591 39端子, 592 31端子, 593 32端子, 594 33端子, 595 34端子, 596 35端子, 597 36端子, 598 37端子, 599 38端子, 600 39端子, 601 31端子, 602 32端子, 603 33端子, 604 34端子, 605 35端子, 606 36端子, 607 37端子, 608 38端子, 609 39端子, 610 31端子, 611 32端子, 612 33端子, 613 34端子, 614 35端子, 615 36端子, 616 37端子, 617 38端子, 618 39端子, 619 31端子, 620 32端子, 621 33端子, 622 34端子, 623 35端子, 624 36端子, 625 37端子, 626 38端子, 627 39端子, 628 31端子, 629 32端子, 630 33端子, 631 34端子, 632 35端子, 633 36端子, 634 37端子, 635 38端子, 636 39端子, 637 31端子, 638 32端子, 639 33端子, 640 34端子, 641 35端子, 642 36端子, 643 37端子, 644 38端子, 645 39端子, 646 31端子, 647 32端子, 648 33端子, 649 34端子, 650 35端子, 651 36端子, 652 37端子, 653 38端子, 654 39端子, 655 31端子, 656 32端子, 657 33端子, 658 34端子, 659 35端子, 660 36端子, 661 37端子, 662 38端子, 663 39端子, 664 31端子, 665 32端子, 666 33端子, 667 34端子, 668 35端子, 669 36端子, 670 37端子, 671 38端子, 672 39端子, 673 31端子, 674 32端子, 675 33端子, 676 34端子, 677 35端子, 678 36端子, 679 37端子, 680 38端子, 681 39端子, 682 31端子, 683 32端子, 684 33端子, 685 34端子, 686 35端子, 687 36端子, 688 37端子, 689 38端子, 690 39端子, 691 31端子, 692 32端子, 693 33端子, 694 34端子, 695 35端子, 696 36端子, 697 37端子, 698 38端子, 699 39端子, 700 31端子, 701 32端子, 702 33端子, 703 34端子, 704 35端子, 705 36端子, 706 37端子, 707 38端子, 708 39端子, 709 31端子, 710 32端子, 711 33端子, 712 34端子, 713 35端子, 714 36端子, 715 37端子, 716 38端子, 717 39端子, 718 31端子, 719 32端子, 720 33端子, 721 34端子, 722 35端子, 723 36端子, 724 37端子, 725 38端子, 726 39端子, 727 31端子, 728 32端子, 729 33端子, 730 34端子, 731 35端子, 732 36端子, 733 37端子, 734 38端子, 735 39端子, 736 31端子, 737 32端子, 738 33端子, 739 34端子, 740 35端子, 741 36端子, 742 37端子, 743 38端子, 744 39端子, 745 31端子, 746 32端子, 747 33端子, 748 34端子, 749 35端子, 750 36端子, 751 37端子, 752 38端子, 753 39端子, 754 31端子, 755 32端子, 756 33端子, 757 34端子, 758 35端子, 759 36端子, 760 37端子, 761 38端子, 762 39端子, 763 31端子, 764 32端子, 765 33端子, 766 34端子, 767 35端子, 768 36端子, 769 37端子, 770 38端子, 771 39端子, 772 31端子, 773 32端子, 774 33端子, 775 34端子, 776 35端子, 777 36端子, 778 37端子, 779 38端子, 780 39端子, 781 31端子, 782 32端子, 783 33端子, 784 34端子, 785 35端子, 786 36端子, 787 37端子, 788 38端子, 789 39端子, 790 31端子, 791 32端子, 792 33端子, 793 34端子, 794 35端子, 795 36端子, 796 37端子, 797 38端子, 798 39端子, 799 31端子, 800 32端子, 801 33端子, 802 34端子, 803 35端子, 804 36端子, 805 37端子, 806 38端子, 807 39端子, 808 31端子, 809 32端子, 810 33端子, 811 34端子, 812 35端子, 813 36端子, 814 37端子, 815 38端子, 816 39端子, 817 31端子, 818 32端子, 819 33端子, 820 34端子, 821 35端子, 822 36端子, 823 37端子, 824 38端子, 825 39端子, 826 31端子, 827 32端子, 828 33端子, 829 34端子, 830 35端子, 831 36端子, 832 37端子, 833 38端子, 834 39端子, 835 31端子, 836 32端子, 837 33端子, 838 34端子, 839 35端子, 840 36端子, 841 37端子, 842 38端子, 843 39端子, 844 31端子, 845 32端子, 846 33端子, 847 34端子, 848 35端子, 849 36端子, 850 37端子, 851 38端子, 852 39端子, 853 31端子, 854 32端子, 855 33端子, 856 34端子, 857 35端子, 858 36端子, 859 37端子, 860 38端子, 861 39端子, 862 31端子, 863 32端子, 864 33端子, 865 34端子, 866 35端子, 867 36端子, 868 37端子, 869 38端子, 870 39端子, 871 31端子, 872 32端子, 873 33端子, 874 34端子, 875 35端子, 876 36端子, 877 37端子, 878 38端子, 879 39端子, 880 31端子, 881 32端子, 882 33端子, 883 34端子, 884 35端子, 885 36端子, 886 37端子, 887 38端子, 888 39端子, 889 31端子, 890 32端子, 891 33端子, 892 34端子, 893 35端子, 894 36端子, 895 37端子, 896 38端子, 897 39端子, 898 31端子, 899 32端子, 900 33端子, 901 34端子, 902 35端子, 903 36端子, 904 37端子, 905 38端子, 906 39端子, 907 31端子, 908 32端子, 909 33端子, 910 34端子, 911 35端子, 912 36端子, 913 37端子, 914 38端子, 915 39端子, 916 31端子, 917 32端子, 918 33端子, 919 34端子, 920 35端子, 921 36端子, 922 37端子, 923 38端子, 924 39端子, 925 31端子, 926 32端子, 927 33端子, 928 34端子, 929 35端子, 930 36端子, 931 37端子, 932 38端子, 933 39端子, 934 31端子, 935 32端子, 936 33端子, 937 34端子, 938 35端子, 939 36端子, 940 37端子, 941 38端子, 942 39端子, 943 31端子, 944 32端子, 945 33端子, 946 34端子, 947 35端子, 948 36端子, 949 37端子, 950 38端子, 951 39端子, 952 31端子, 953 32端子, 954 33端子, 955 34端子, 956 35端子, 957 36端子, 958 37端子, 959 38端子, 960 39端子, 961 31端子, 962 32端子, 963 33端子, 964 34端子, 965 35端子, 966 36端子, 967 37端子, 968 38端子, 969 39端子, 970 31端子, 971 32端子, 972 33端子, 973 34端子, 974 35端子, 975 36端子, 976 37端子, 977 38端子, 978 39端子, 979 31端子, 980 32端子, 981 33端子, 982 34端子, 983 35端子, 984 36端子, 985 37端子, 986 38端子, 987 39端子, 988 31端子, 989 32端子, 990 33端子, 991 34端子, 992 35端子, 993 36端子, 994 37端子, 995 38端子, 996 39端子, 997 31端子, 998 32端子, 999 33端子, 1000 34端子, 1001 35端子, 1002 36端子, 1003 37端子, 1004 38端子, 1005 39端子, 1006 31端子, 1007 32端子, 1008 33端子, 1009 34端子, 1010 35端子, 1011 36端子, 1012 37端子, 1013 38端子, 1014 39端子, 1015 31端子, 1016 32端子, 1017 33端子, 1018 34端子, 1019 35端子, 1020 36端子, 1021 37端子, 1022 38端子, 1023 39端子, 1024 31端子, 1025 32端子, 1026 33端子, 1027 34端子, 1028 35端子, 1029 36端子, 1030 37端子, 1031 38端子, 1032 39端子, 1033 31端子, 1034 32端子, 1035 33端子, 1036 34端子, 1037 35端子, 1038 36端子, 1039 37端子, 1040 38端子, 1041 39端子, 1042 31端子, 1043 32端子, 1044 33端子, 1045 34端子, 1046 35端子, 1047 36端子, 1048 37端子, 1049 38端子, 1050 39端子, 1051 31端子, 1052 32端子, 1053 33端子, 1054 34端子, 1055 35端子, 1056 36端子, 1057 37端子, 1058 38端子, 1059 39端子, 1060 31端子, 1061 32端子, 1062 33端子, 1063 34端子, 1064 35端子, 1065 36端子, 1066 37端子, 1067 38端子, 1068 39端子, 1069 31端子, 1070 32端子, 1071 33端子, 1072 34端子, 1073 35端子, 1074 36端子, 1075 37端子, 1076 38端子, 1077 39端子, 1078 31端子, 1079 32端子, 1080 33端子, 1081 34端子, 1082 35端子, 1083 36端子, 1084 37端子, 1085 38端

【図2】

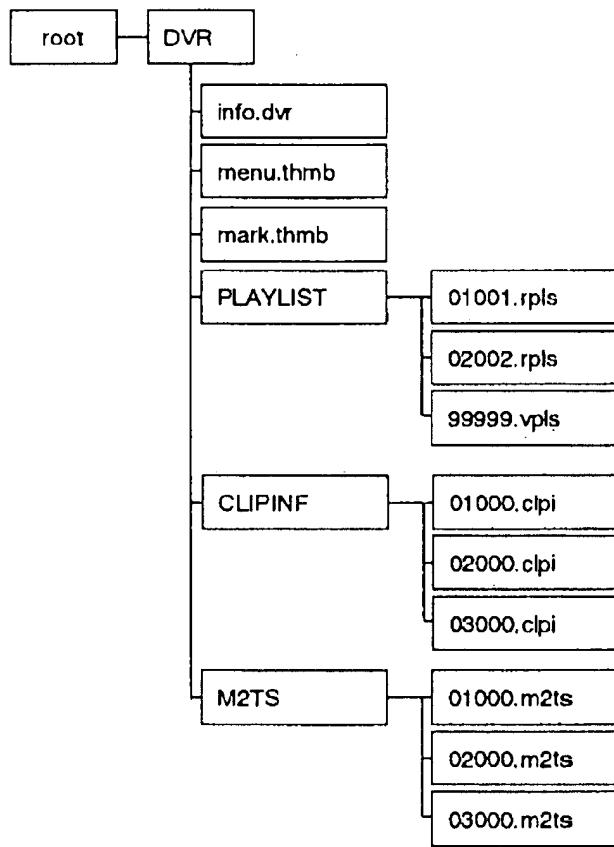


【図5】

Syntax	No. of bits	Mnemonics
info.drv {		
<u>TableOfPlayLists Start address</u>	32	uimsbf
<u>MakerPrivateData Start address</u>	32	uimsbf
reserved	192	bslbf
<u>DVRVolume()</u>		
for(i=0; i<N1; i++){		
<u>padding_word</u>	16	bslbf
}		
<u>TableOfPlayLists()</u>		
for(i=0; i<N2; i++){		
<u>padding_word</u>	16	bslbf
}		
<u>MakerPrivateData()</u>		
}		

info.drv のシンタクス

【図4】



【図7】

Syntax	No. of bits	Mnemonics
UIAppInfoVolume 0 {		
character_set	8	bslbf
name_length	8	uimsbf
Volume_name	8*256	bslbf
reserved	15	bslbf
Volume_protect_flag	1	bslbf
PIN	8*4	bslbf
ref_thumbnail_index	16	uimsbf
reserved	7	bslbf
rp_info_valid_flag	1	uimsbf
rp_ref_to_PlayList_file_name	8*10	bslbf
rp_ref_to_PlayItem_id	16	uimsbf
rp_time_stamp	32	uimsbf
}		

【図8】

■ TableOfPlayLists - シンタクス (4.2.3.2 の別案)

Syntax	No. of bits	No. of Mnemonics
TableOfPlayLists()		
version_number	8*4	bslbf
length	32	uimsbf
number_of_PlayLists	16	uimsbf
for (i=0; i<number_of_PlayLists; i++) {		
PlayList_file_name	8*10	bslbf
UIAppInfoPlayList 2()		
}		
]		

TableOfPlayLists のシンタクス

【図9】

Syntax	No. of bits	Mnemonics
UIAppInfoPlayList20 {		
character_set	8	bslbf
name_length	8	uimsbf
PlayList_name	8*256	balbf
reserved	8	bslbf
record_time_and_date	4*14	bslbf
reserved	8	bslbf
duration	4*6	bslbf
valid_period	4*8	bslbf
maker_id	16	bslbf
maker_code	16	bslbf
reserved	11	bslbf
playback_control_flag	1	bslbf
write_protect_flag	1	bslbf
is_played_flag	1	bslbf
archive	2	bslbf
ref_thumbnail_index	16	uimsbf
reserved	7	balbf
rp_info_valid_flag	1	uimsbf
rp_ref_to_PlayItem_id	16	uimsbf
rp_time_stamp	32	uimsbf
reserved_for_future_use	240	bslbf
}		

【図11】

Syntax	No. of bits	Mnemonics
ClipMark() {		
version_number	8*4	bslbf
length	32	uimsbf
number_of_Clip_marks	16	uimsbf
for(i=0; i < number_of_Clip_marks; i++) {		
reserved	8	bslbf
mark_type	8	bslbf
mark_time_stamp	32	uimsbf
STC_sequence_id	8	uimsbf
reserved	24	bslbf
character_set	8	bslbf
name_length	8	uimsbf
mark_name	8*256	bslbf
ref_thumbnail_index	16	uimsbf
}		
}		

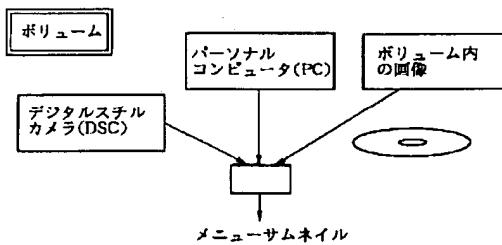
ClipMark のシンタクス

【図10】

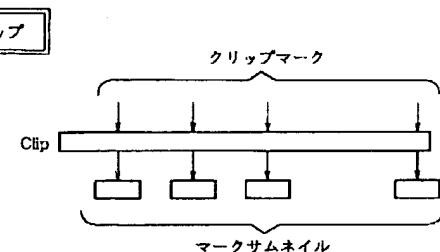
Syntax	No. of bits	Mnemonics
zzzz.cipi {		
STC_Info_Start_address	32	uimsbf
ProgramInfo_Start_address	32	uimsbf
CPI_Start_address	32	uimsbf
ClipMark_Start_address	32	uimsbf
MakerPrivateData_Start_address	32	uimsbf
reserved	96	bslbf
ClipInfo()		
for(i=0; i<N1; i++){		
padding_word	16	bslbf
}		
STC_Info()		
for(i=0; i<N2; i++){		
padding_word	16	bslbf
}		
ProgramInfo()		
for(i=0; i<N3; i++){		
padding_word	16	bslbf
}		
CPI()		
for(i=0; i<N4; i++){		
padding_word	16	bslbf
}		
ClipMark()		
for(i=0; i<N5; i++){		
padding_word	16	bslbf
}		
MakerPrivateData()		
}		

zzzz.cipi のシンタクス

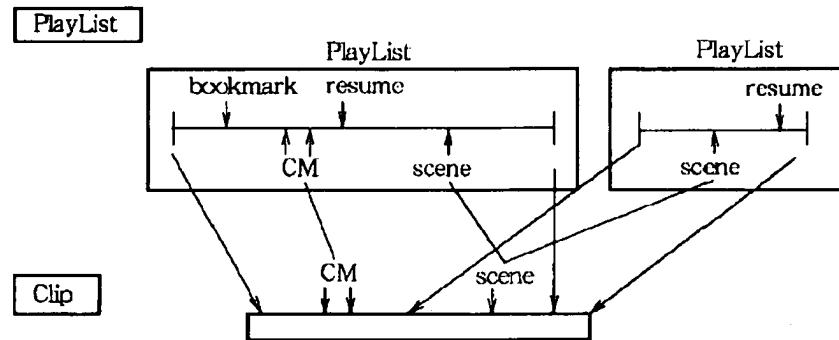
【図17】



【図19】



【図12】



PlayList 上のマークと Clip 上のマーク

【図13】

Syntax	No. of bits	Mnemonics
xxxx.rpls / yyyy.vpls {		
PlayListMark Start address	32	uimstbf
MakerPrivateData Start address	32	uimstbf
reserved	192	bslbf
PlayList()		
PlayList()		
for(i=0; i<N1; i++){		
padding word	16	bslbf
}		
PlayListMark()		
for(i=0; i<N2; i++){		
padding word	16	bslbf
}		
MakerPrivateData()		
}		

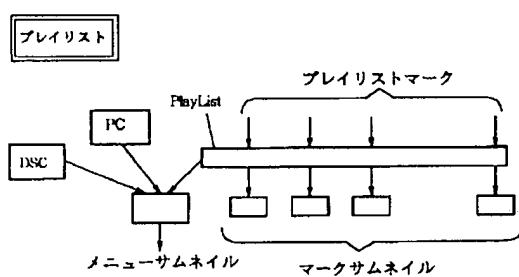
xxxx.rpls と yyyy.vpls のシンタクス

【図14】

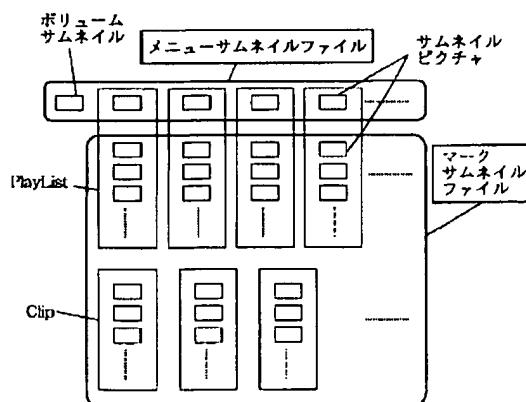
Syntax	No. of bits	Mnemonics
PlayList()		
version_number	8*4	bslbf
length	32	uimsbf
PlayList_type	8	uimsbf
CPI_type	1	bslbf
reserved	7	bslbf
UIAppInfoPlayList()		
number_of_PlayItems // main path	16	uimsbf
if (<Virtual PlayList>){		
number_of_SubPlayItems // sub path	16	uimsbf
}else{		
reserved	16	bslbf
}		
for (PlayItem_id=0;		
PlayItem_id<number_of_PlayItems;		
PlayItem_id++) {		
PlayItem() // main path		
}		
if (<Virtual PlayList>){		
if (CPI_type==0 && PlayList_type==0) {		
for (i = 0; i < number_of_SubPlayItems; i++)		
SubPlayItem() // sub path		
}		
}		
}		
}		

PlayList のシンタクス

【図18】



【図20】



【図15】

Syntax	No. of bits	Mnemonics
PlayItem() {		
Clip_information_file_name	8*10	bslbf
reserved	24	bslbf
STC sequence id	8	uimsbf
IN_time	32	uimsbf
OUT_time	32	uimsbf
reserved	14	bslbf
connection_condition	2	bslbf
if (<Virtual PlayList>) {		
if (connection_condition=='10') {		
BridgeSequenceInfo()		
}		
}		
}		

PlayItem のシンタクス

【図23】

Thumbnail_picture_format	Meaning
0x00	MPEG-2 Video I-picture
0x01	DCF (restricted JPEG)
0x02	PNG
0x03-0xff	reserved

thumbnail_picture_format

【図27】

Syntax	No. of bits	Mnemonics
TableOfPlayLists() {		
version_number	8*4	bslbf
length	32	uimsbf
number_of_PlayLists	16	uimsbf
for (i=0; i<number_of_PlayLists; i++) {		
PlayList_file_name	8*10	bslbf
}		
}		

TableOfPlayLists のシンタクス

【図16】

Syntax	No. of bits	Mnemonics
PlayListMark()		
version_number	8*4	bslbf
length	32	uimsbf
number_of_PlayList_marks	16	uimsbf
for(i=0; i < number_of_PlayList_marks; i++) {		
reserved	8	bslbf
mark_type	8	bslbf
mark_time_stamp	32	uimsbf
PlayItem_id	8	uimsbf
reserved	24	uimsbf
character_set	8	bslbf
name_length	8	uimsbf
mark_name	8*256	bslbf
ref_thumbnail_index	16	uimsbf
}		

PlayListMark のシナクス

【図21】

Syntax	No. of bits	Mnemonics
menu.thumb / mark.thumb {		
reserved	256	bslbf
Thumbnail0		
for(i=0; i<NI; i++)		
padding_word	16	bslbf
}		

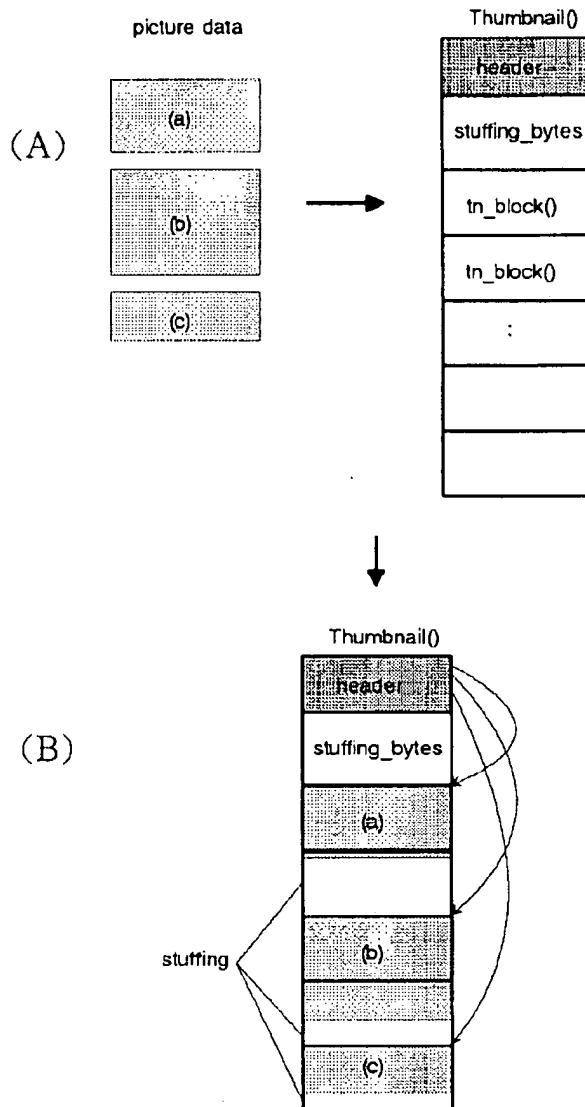
menu.thumb & mark.thumb のシンタクス

【図22】

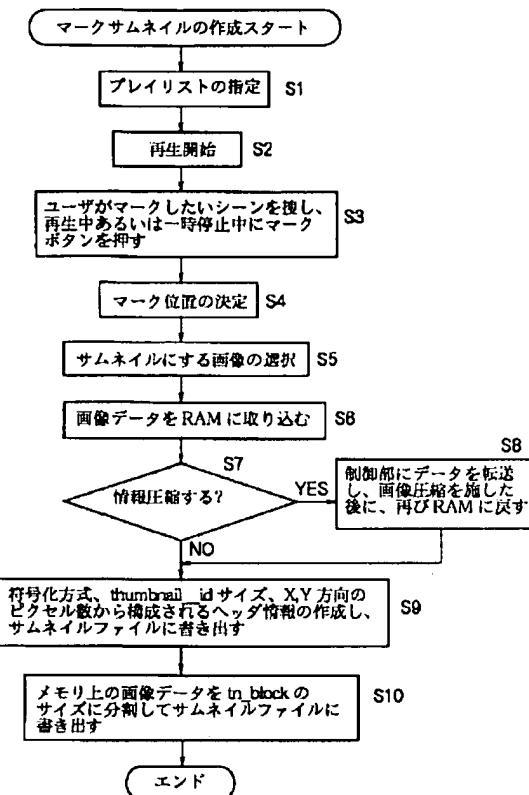
Syntax	Bits	Mnemonics
Thumbnail0 {		
version number	8*4	char
length	32	uimsbf
if (length != 0) {		
tn_blocks start address	32	bslbf
number of thumbnails	16	uimsbf
tn_block_size	16	uimsbf
number of tn_blocks	16	uimsbf
reserved	16	bslbf
for(i = 0; i < number of thumbnails; i++) {		
thumbnail_index	16	uimsbf
thumbnail_picture_format	8	bslbf
reserved	8	bslbf
picture_data_size	32	uimsbf
start_in_block_number	16	uimsbf
x_picture_length	16	uimsbf
y_picture_length	16	uimsbf
reserved	16	uimsbf
}		
stuffing_bytes	8*2*L1	bslbf
for(k = 0; k < number of tn_blocks; k++) {		
tn_block	fixed	
}		
}		

Thumbnail のシナクス

【図24】



【図30】

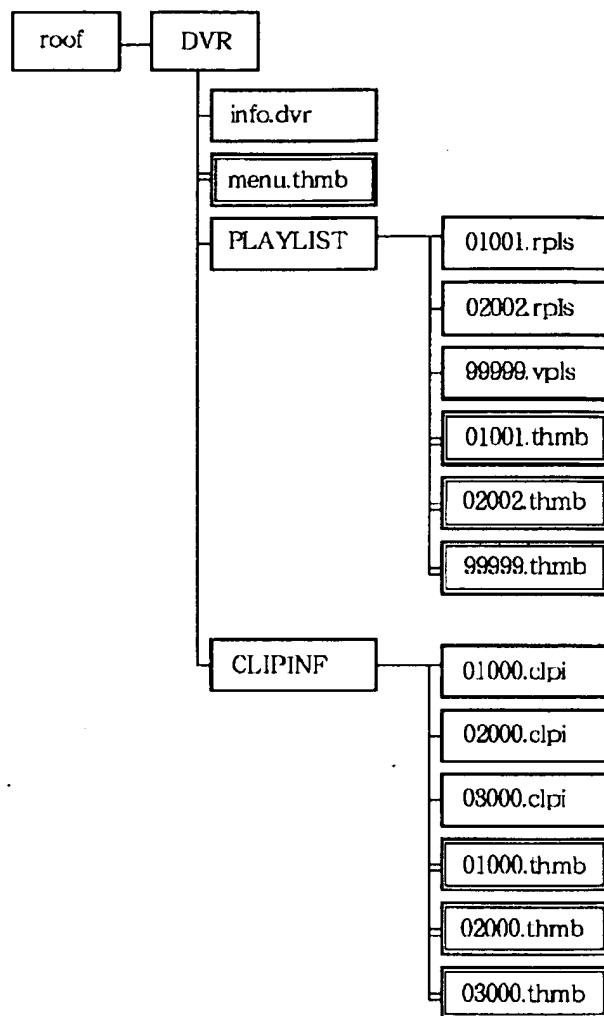


【図34】

display_aspect_ratio

display_aspect_ratio	Meaning
0, 1	reserved for future use
2	4:3 display aspect ratio
3	16:9 display aspect ratio
4-15	reserved for future use

【図25】



【図35】

color_space

display_aspect_ratio	Meaning
0	BT.709
1	ITU-R Rec.601
2-15	reserved for future use

【図26】

Syntax	No. of bits	Mnemonics
menu.thumb / xxxx.thumb {		
reserved	256	bslbf
ThumbnailQ		
for(i=0; i<N1; i++)		
padding word	16	bslbf
}		

menu.thumb と xxxx.thumb のシンタクス

【図28】

Syntax	No. of bits	Mnemonics
PlayList()		
version_number	8*4	bslbf
length	32	uimsbf
PlayList_type	8	uimsbf
CPL_type	1	bslbf
reserved	7	bslbf
UIAppInfoPlayList()		
number_of_PlayItems	16	uimsbf
if (<Virtual PlayList>){		
number_of_SubPlayItems	16	uimsbf
reserved	16	bslbf
}else{		
}		
for (PlayItem_id=0;		
PlayItem_id<number_of_PlayItems;		
PlayItem_id++) {		
PlayItem()	16	uimsbf
PlayItem()	16	bslbf
}		
if (<Virtual PlayList>){		
if (CPL_type==0 && PlayList_type==0) {		
for (i = 0; i < number_of_SubPlayItems; i++)		
SubPlayItem()	16	uimsbf
SubPlayItem()	16	bslbf
}		
}		
}		

PlayList のシノタクス

【図29】

Syntax	No. of bits	Mnemonics
UIAppInfoPlayList()		
character_set	8	bslbf
name_length	8	uimsbf
PlayList_name	8*256	bslbf
reserved	8	bslbf
record_time_and_date	4*14	bslbf
reserved	8	bslbf
duration	4*6	bslbf
valid_period	4*8	bslbf
maker_id	16	uimsbf
maker_code	16	uimsbf
reserved	11	bslbf
playback_control_flag	1	bslbf
write_protect_flag	1	bslbf
is_played_flag	1	bslbf
archive	2	bslbf
ref_thumbnail_index	16	uimsbf
reserved_for_future_use	240	bslbf
}		

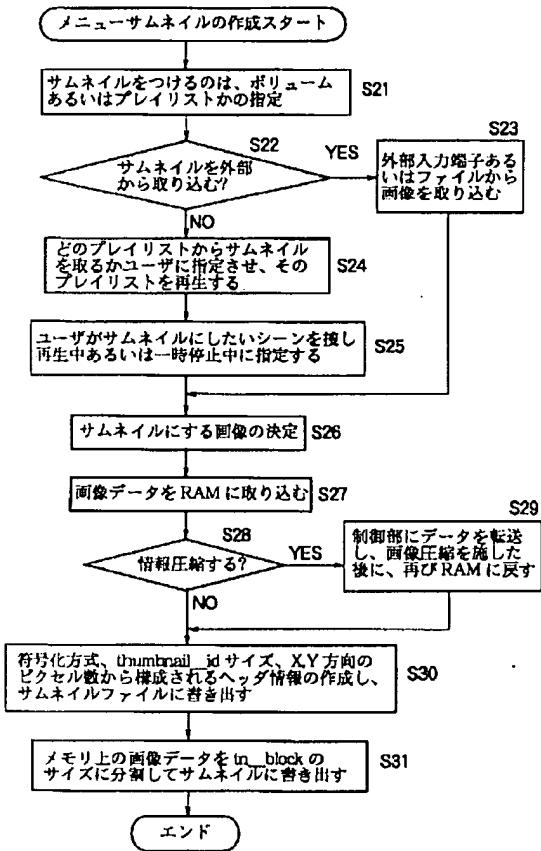
UIAppInfoPlayList のシンタクス

【図33】

Syntax	No. of bits	Mnemonic
menu.tidx / mark.tidx {		
version_number	8*4	char
reserved_for_future_use	256	bslbf
length	32	uimsbf
if (length != 0) {		
number_of_thumbnails	16	uimsbf
tn_block_size	16	uimsbf
number_of_tn_blocks	16	uimsbf
for(i=0; i<number_of_thumbnails; i++) {		
thumbnail_index	16	uimsbf
ref_to_tn_block_id	16	uimsbf
picture_byte_size	32	uimsbf
horizontal_picture_size	16	uimsbf
vertical_picture_size	16	uimshf
display_aspect_ratio	4	uimsbf
color_space	4	uimsbf
reserved_for_word_align	8	bslbf
}		
}		
}		

サムネールのヘッダ情報ファイルのシンタクス

【図31】

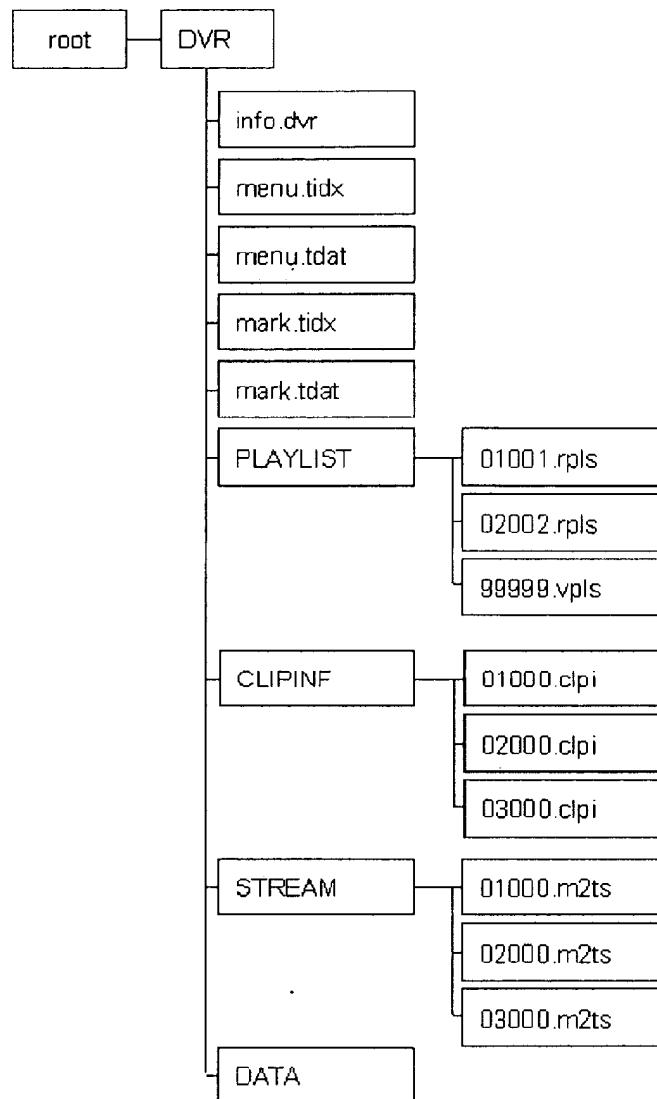


【図36】

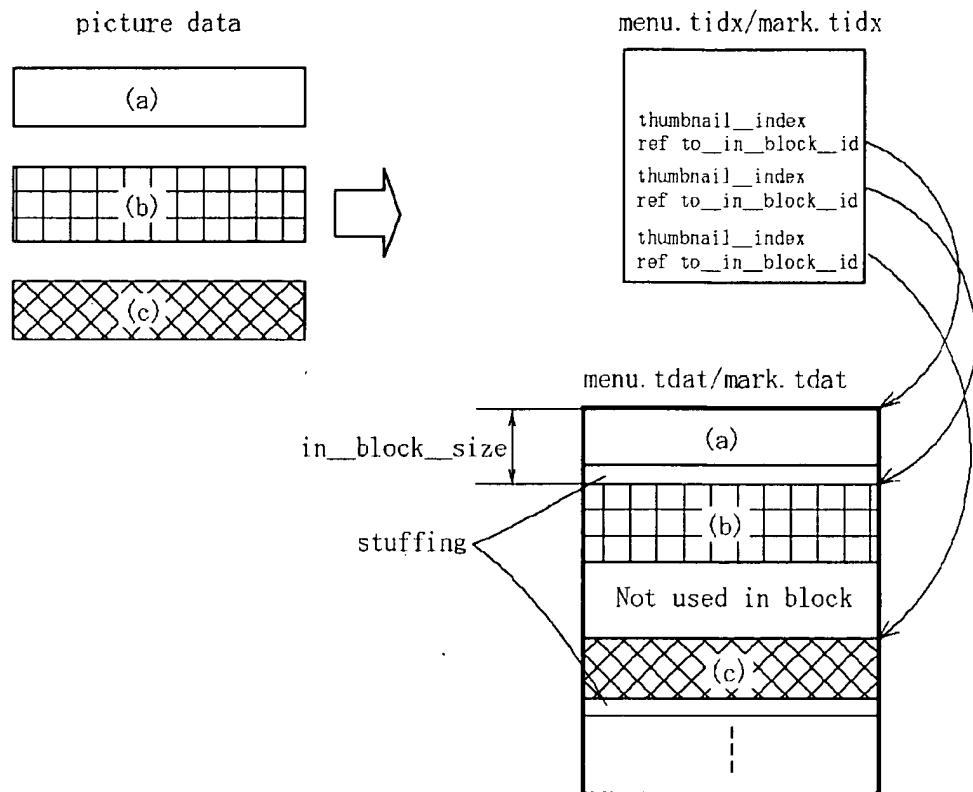
Syntax	No. of bits	Mnemonic
menu.tdat / mark.tdat { for(<i>tn_block_id</i> =0; <i>tn_block_id</i> < <i>number_of_tn_blocks</i> ; <i>tn_block_id</i> ++) { <i>tn_block</i>		
	<i>tn_block_size</i> *1024*8	
}		
}		

サムネールのピクチャデータファイルのシンタクス

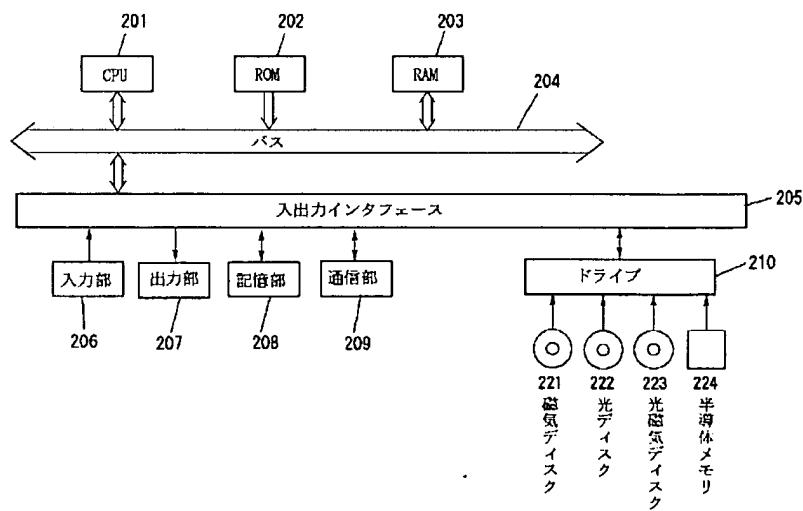
【図32】



【図37】



【図38】



フロントページの続き

F ターム(参考) 5C052 AA02 AC08 CC11 DD10
5C053 FA14 FA20 FA23 GB06 GB09
GB38 HA30 KA01 KA08 KA24
KA26 LA06 LA07
5D044 AB05 AB07 BC04 CC06 DE22
DE38 DE53 EF05 FG18
5D110 AA17 AA19 AA27 AA29 DA01
DA06 DA11 DA20 DB03 DC05
DC15 FA08 FA09